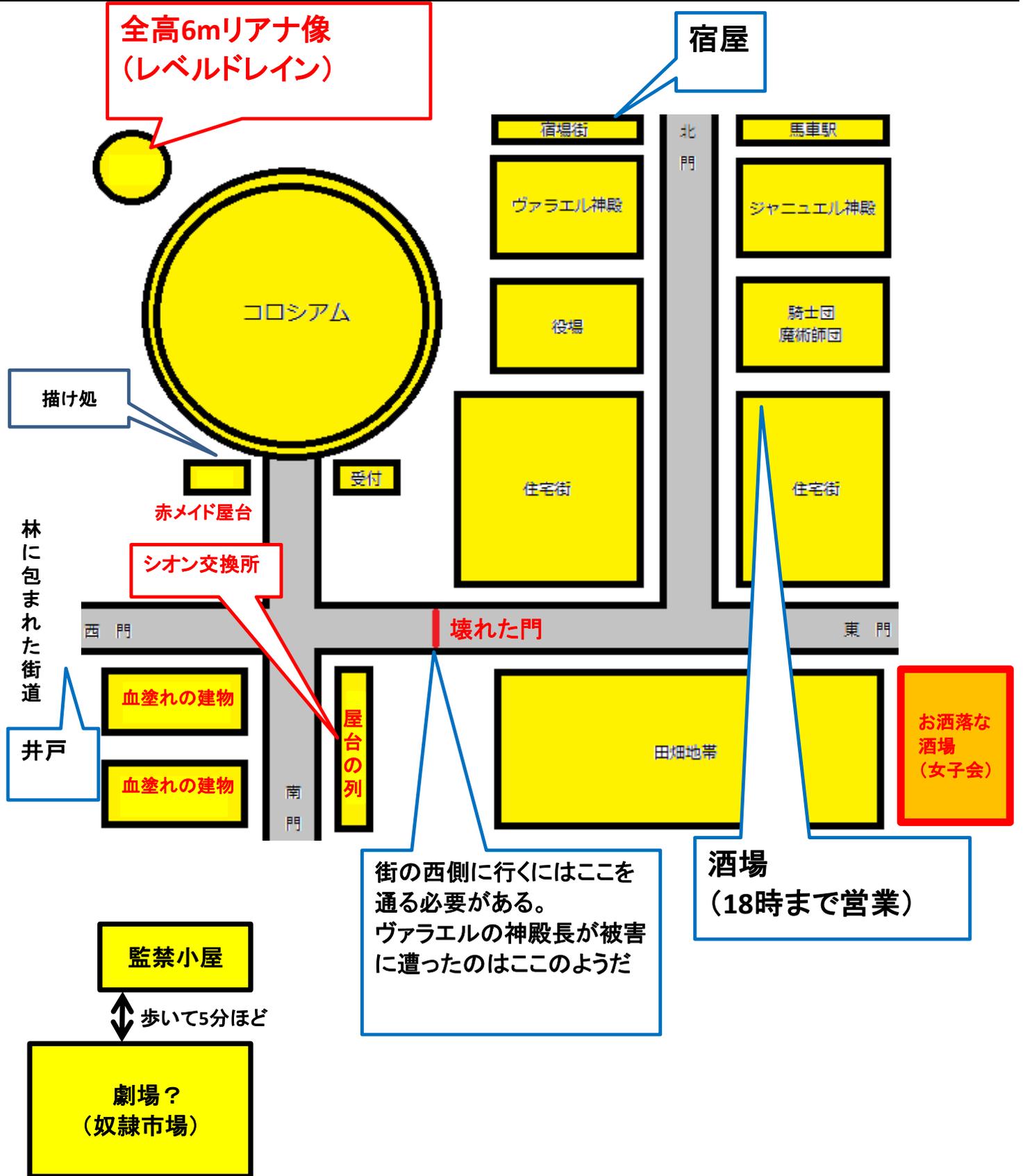


全人類強化計画情報まとめ

ゴアプルガ地図



事前情報

剣王国の東地方に存在する大都市のゴアブルガ。

コロシウムが存在し、日々その熱狂に包まれる人々が暮らす平和な街ではあるが、ここ最近、剣王国の勸善懲悪劇の世界が脅かされている。

行ってみればわかるがとても治安が悪くなっている、

君達の仕事は「旅人」としての治安悪化の原因探し、そして治安回復である。

参加に当たり、手記「剣王国フラクナス」を読むことを勧める、これはPCの初期知識として良い。

街の中央にあるコロシウムでは真っ赤な通貨が使われ始めているという噂がある。

(この噂はPCは知っていて良い)

諸注意

- ・全員でのバトルの際は行動入力に時間制限がかかります。
- ・パーミッションなどの鉄壁防御を使用する際は、回避や抵抗を振った後では手遅れになります。誰が鉄壁防御を使えるか把握しておきましょう。
(まとめの最後の方にスロットに入っている分だけの鉄壁防御+αのリストを入れました)
- ・今回、舞台が剣王国内部になることから、PCの立場は『冒険者』ではなく『旅人』となります。『旅人』についてはエリザベートの手記の剣王国についての記事に詳細がありますので、把握しておきましょう。
- ・今回の冒険では全員で移動して何かあった場合、そのときにいなかった人もいたとして扱うことがあります。全員移動の時のみです。
- ・剣王国ではセレン通貨は流通しておりません。流通している通貨は『フラク』です。本シナリオ後に通貨名変更の可能性あり。
交換レートはアパカルガでは【1セレン=2フラク】です。(手数料10%)
ゴアブルガでの交換レートも【1セレン=2フラク】。ただし手数料は12%になる。
物価はセレン通貨が流通する地域とさほど変わりはないようです。(多少の違いはあるかも)

移動

ホオツキからゴアブルガへと出発した一行。

ニブル Heim 停泊中のホオツキからアパカルガへ1週間、アパカルガからゴアブルガへの移動が駅馬車で2週間の道程となった。

途中、アパカルガで通貨をセレンからフラク(通貨名後日変更の可能性あり)への両替を済ませる一行。

また、指名手配者のヘラと、討伐対象種族のフラウは各々変装を行って、剣王国で普通の旅人や住人として扱われるようになった。(達成値 ヘラ: 15 フラウ: 24)

馬車に乗る程度なら変装の目標値は12程度。ゴアブルガでの目標値は不明。

セフィもマントとヴェールで種族を隠している。(討伐対象種族ではないので、変装まではしていない)

フィミアも仮装で修道服姿になっている。

移動時イベント

ゴアブルガまであと半日という地点で、馬車荒らしによる襲撃を受けた。

彼らは大バビロンこと**大淫婦イセベルの使徒**を名乗る**黒い覆面の**男3人と女1人。

男たちは短剣で女は杖で武装していた。鎧はレザー。レベルは5程度と思われる。

馬車から降りて迎撃に出たヘラ、ミレイユ、セフィ、クロウ、ルエル。

ヘラとセフィのピュプノクラウドで沈黙したかに見えた馬車荒らしだったが、

倒れたはずの女から噴き出るように赤い瘴気が現れて女の身体が起き上がった。

女は眠りながら呪文のようなものを唱えようとしたがクロウに阻まれた。

しかし、そこに馬車から出た全員に対して**得体のしれない魔術（バビロニアショック？ 対象拡大 固定値：10）**が飛んできた。

魔術の内容は**魔法抵抗に失敗すると発狂し、魔法抵抗に成功してもダメージを受ける**もの。

全員魔法抵抗には成功して、大した損害は受けなかった。

面倒を嫌う駅馬車の御者に配慮して、四人の襲撃者は縛り上げて道のわきに棄てて置かれた。

御者によるとゴアブルガの西側は治安が悪く危険な区域らしい。

ゴアブルガ北門

駅馬車はゴアブルガの街の北門に到着した。

この地方では1,2を争う大都市のようだ。西の方角を見ると巨大なコロシウムが見える。

しかし、通りは閑散としている。

周囲には四つの巨大な建造物があり、それぞれ入口には物々しい警備がついている。

（後からわかるが、それぞれ、**ジャンニエル神殿、ヴァラエル神殿、役場、騎士団魔法師団庁舎**だった）

一行は駅馬車の御者から宿屋の場所を教えてもらい、**馬小屋のある宿屋に宿泊することとなった。**

宿泊費は一泊30フラク（15セレン）。

ここでヘラ、ギーゼルベルト、ソニア、ルエルは神殿に行き情報を集めることとして、

残ったメンバーは宿屋のオヤジと話をすることとした。

ヴァラエル神殿にて

・入ろうとするといきなり神殿荒らしか旅人かと門番の神官に詰問された。

・神殿内でまずはお祈り。

・**神殿長はならず者に殴られて（魔法ではない）敗北して以来、神殿長室に引きこもったままでいくら呼びかけても出てこない。**

・**既に神殿長の傷は完治している。手当てをしたのは副神殿長。**

・**神殿長が負けるところを目撃した者はいない。朝になって倒れていたらしい。**

・**副神殿長は会議（開催場所など詳細は不明）に出かけて不在。いつ帰るかも不明。**

・**西地区にはたとえ高位の神官であっても少人数で行ってはならない。**

・**街の様子がおかしくなったのは2ヶ月前から。**

ヴァラエル神殿神殿長室

- ・神殿長室は鍵がかかっていて、中からはすすり泣く声が聞こえてくる。
- ・声をかけられても『放っておいてくれ』との返事。何故なのかは答えてくれない。
- ・ヘラとギーゼルベルトも声をかけたがそれ以上の返事はなかった。

ヴァラエル神殿にて（続き）

- ・ジャニュエル神殿に行くために便宜を図ってもらおうとしたが、**ジャニュエル神殿にはならず者が侵入したため、今は顔見知りの神官しか入れないらしい。**
- ・『同じジャニュエル神殿のものに襲撃されたとしたらどうだ？』『本当ですか？』『たとえ話だ』
- ・現在、この都市にいる人間たちはナイーブになっている。
- ・倒したならず者が何か赤いものを纏っていたことがあった。（後の会話で服やアクセサリではなくオーラや瘴気のようなものだと分かった）
- ・（神殿長は誰か信頼している人に襲われたのかも？）

ジャニュエル神殿にて

- ・早速門前払いにされた。
- ・アパカルガから騎士や宮廷魔術師が来て、事態を解決してから入れと言われる。
- ・騎士や宮廷魔術師はもう来ているかもしれない。
- ・ヴァラエル神殿の副神殿長が、中にいるとしても教えることはできない。

再びヴァラエル神殿

- ・こちらではアパカルガから騎士や宮廷魔術師を呼んだという話は知らないようだ。
- ・騎士団については副神殿長が決めたのではないか？（確証無し）
- ・イセベル神殿は街の西部または南門から出た先にあるらしい（伝聞）
- ・『最近の街での被害は、どこに所属しているかわからぬならず者からのが多くてな。赤い装飾品などは聞いたことがない』『赤い魔力、瘴気、オーラ、よくわからぬものだ』
- ・『イセベルの神官も、そうだった。意識を失っても、襲って来た』『そうだ。それも、放つものと放たないものがあった』
- ・ヴァラエルの神官からすると、フードをかぶったままだと心証がよくないらしい。

宿屋にて

神殿に行かなかったメンバーはゴアブルガに40年いるというでっぴり太った宿屋のオヤジと話をした。

- ・オヤジは一行に金をたっぴり落していくか騎士になることを期待しているようだ。（本気かどうかは不明）
- ・**神官や騎士は宿には泊まらない。宿に泊まるのは旅人かコロシラムの出場者。**
- ・100フラクを支払って街の地図を描いてもらった。（冒頭に掲載の地図）
- ・オヤジは西地区のことについてはコロシラムへの道以外はよく知らないらしい。
- ・**西地区には元々暗黒神殿（イセベルとゴモラ）の詰め所があったらしいが詳細不明。**
- ・西地区のならず者のせいで生活が滅茶苦茶。
 - ・**夜の間、西地区に子供が入らないように閉鎖するため門が設けてあったが、ならず者に破壊された。**
- ・ならず者には老若男女いるらしい。特徴はない（赤いアクセサリをつけているというわけでもない）が暴力的。
- ・**夜は少し前は見なかったようなならず者が壊れた門を越えて街の東側にも入り込んでくる。**
- ・騎士団や神殿が畑の方まで見廻りしているらしいが、**ジャンユエル神殿のNo.3が殺された。**
- ・**街が閑散としているのは、治安が悪いから住民が仕事以外では外に出たくないかららしい。**
- ・**笑顔のBBAに話しかけられていきなりタコ殴りにされるようなこともあるらしい。**
- ・**見た目普通の女の子（元々西地区の住民のようだが詳細不明）にいきなり刺される事件もあったらしい。**
- ・街で信じられるのは知り合いと神官と騎士だけの状況。
- ・ならず者自体は昔からこの街にいたし、**西側の地区は元々荒れてはいたが、2ヶ月ほど前から狂暴化した。**

- ・**コロシラム自体は宿屋のオヤジが生まれる前から街にあった。**
- ・コロシラムでは毎日のように試合が組まれ、週に一度大会がある。**久々にチャンピオンが出場。**
 - （次の大会は一行が到着して二日後）
- ・**チャンピオンはガンフリーという名の30台のマッチョで、女に負けそうになった時（3ヶ月前）に負った大怪我でしばらく欠場していた。**
- ・チャンピオンを負かしそうになった女は結局負けたので、あまり噂になっていない。
- ・**試合は武器や魔法の使える人間同士の戦い。**死者も出る。南海ではそのようなものはあまりない。
- ・コロシラムでの**試合はデーゲームのみ。**ナイターはない。
- ・コロシラムでは賭けが行われている。賭けの胴元は暗黒神殿？（オヤジは正確には知らなかった）
- ・**コロシラムは治安の悪い西地区にあるが、観客は大人数で騎士や神官と行くらしい。**
- ・**宿のオヤジは赤いコインは見たことがないようだ。**

- ・**最近この街に来た騎士は騎士団魔術師団庁舎の南側の酒場によく出没するらしい。**
- ・街で買い物をするなら、役場南側や騎士団魔術師団庁舎南側に行くといい。
- ・**街の西側では夜市（肉や魚の屋台や小物や着る物を扱っている）がある**ようだ。今はならず者のせいで夜市は危険すぎていく気にならないようだ。
- ・**街を案内するガイドになり得るのはコロシラムの出場選手。身分も確かで強い。昼間にコロシラムに行けば会える。**

酒場にて

- ・酒場の中では住民たちが自棄酒のように酒を飲んでいる住民たちがいて、**ツンツン頭の両手剣を持ったマント姿の精悍な男（騎士アベル）**が住民たちの愚痴を聞きまわっている。マントには剣王国の正式な騎士を示す紋章がついていた。
- ・アベルと住民たちの**会話を盗み聞きしよう**と耳を澄ませようとすると、**アルマーサの女神官（宮廷魔術師ソフィー）**に**遮られた**。
- ・ソフィーによると、今この街で楽しめる噂などない。
- ・ソフィーたちもこの街に着いたのは一行が到着する前日だったようで、現時点（一行の到着一日目）では、この街に起こっている事態については詳しくない。**仲間があと二人いるが、西区の方を見に行っている。二人が戻り次第、今後の対応について話し合い、町長とも話し合うつもりらしい。（一行は身分を保証するものがないので同席はさせられない）**
- ・ソフィーたちは騎士団が入っているところに滞在している。（騎士用の専用宿舎？）
- ・**ソフィーたちは前日（一行の到着する一日前）の夕方に西区の方を見回ったがそれほど治安が悪いという印象は受けなかった。しかし、コロシウムの方は熱狂していた。（他国と盛り上がり方の比較はできないが）**
- ・万が一にも負けることは許されないので、**まだ夜の見廻りは行ってない**。まず充分に昼に調査してからと思っている。
- ・治安が悪くないように見えたのは、ならず者が騎士だと分かって襲ってこないからかもとソフィーは思っている。
- ・**ソフィーたちもチャンピオンの復帰戦は見に行くつもりらしい。**
- ・**高位の神官（ヴァラエルの神殿長か？）がならず者の被害に遭ったのは西地区へ続く門をくぐったところ。**
- ・**気絶をした人間に魔法を使わせる邪法はソフィーでも知らなかった。イセベル神殿の暗黒祈祷ではないのでは？**
- ・**眠らせた神官が赤い霧を纏って起き上がって魔法を唱えたと具体的に言っても、やはりそんな現象は見たことがないらしい。**
- ・時計塔の身分証では身元の保証はできなかった。
- ・ルエルがソフィーに注意喚起をしたが、ソフィーは自信満々だった。
- ・ソフィーたちに協力をするとは言ったが、あまり本気にはしていない様子。

騎士団庁舎にて

- ・槍を持った兵士が門を守っている。
- ・今は中に入れない。
- ・『……そうか、ならば今すぐこの町から出て行って欲しいくらいには治安が悪い。**間違っても夜に出歩いたり、子供を連れて西門をくぐるなよ。 …売られるぞ**』
- ・**槍の兵士は旅人を舐めている様子。大会の開催中は暴れる者は少ない**と思っているらしい。
- ・**治安が崩れるのとコロシウムでの試合がおかしくなってきた（全試合ではないが試合時間が平均して2倍と長時間化している）のがほぼ同時のようだ。（2ヶ月前）**
- ・マッチメイクはランダムなので、**試合時間が伸びるように作為的にカードが組まれているわけではない。**
- ・治安回復の手伝いを申し出たら、騎士や宮廷魔術師が来ているから邪魔をしないように役場で依頼を受けてみろと言われた。
- ・**赤いコインが欲しければ大会に参加すると良い。**

役場にて

- ・斧を持った何人もの兵士（特に紋章無し）が守っている。
- ・暴れる者が多いため、入ってくる人間が中で暴れないか警戒しているようだ。
- ・内部にも斧戦士がたくさんいて目を光らせている。
- ・受付の30歳ほどの女から話を訊けた。**旅人向けの依頼がいくつもあるらしい。（依頼リストは別途後ろに作成）**
- ・**依頼の報酬は名声で、おまけとしてコロシウムで流行っている赤いコインが支払われる。**
- ・最近はやしや事件が多すぎて手配書処理しきれしていない。
- ・依頼を受けるのに特に前提条件は必要ない。
- ・現在の街の情勢はめっちゃくちゃ。
- ・**ジャンニエルの神官がジャンニエルの上位神官を殺害したという噂が流れている。**目撃者については聞いていない。犯人は捕まっていないがジャンニエルの神官が犯人だと死に際に上位神官が言っただけらしい。（受付談）
- ・**ヴァラエル神殿の神殿長は一人で西地区を視察していて、ならず者に勝負を挑まれて敗北した。**（ふさぎ込んでいる理由はこれか？）
- ・**ヴァラエル神殿の神殿長が信頼しているのはジャンニエル神殿の神殿長らしい。**
- ・**コロシウムでは参加賞として赤金貨が貰える。**
- ・コロシウムの試合時間が長くなっているのは分かっているが試合のレベルが上がったからだと言っている。
- ・斧戦士たちに感想は特にないが、**商品が豪華になった**印象はある。
- ・**赤いコインは色々なものと交換できる**らしいが、何と交換できるかは斧兵士たちは知らない。
- ・**コロシウムで降参することは可能。旅人でも出場できる。チャンピオンのガンフリーも元は旅人だった。**
- ・降参した相手を殺しに行くようなのを止めてくれる係はいるらしい。
- ・**コロシウムに宿泊場所があるので、選手に会いたかったらそこに行くといいかも。**
- ・**酒場は夜は営業していない。（18時で閉鎖）**

田畑地帯にて

- ・**広大な田畑で住民が作業を続けているが、周囲を10人ほどの戦士のような輩が警備している。**
- ・戦士たちは周囲から怪しい者がやっこないか、目を光らせている様子。（この状態をミヤが写真記憶）
- ・**作業している住民たちはびくびくして、あまり食べていないのか栄養状態が悪いように見える。**
- ・田畑自体には特に異常は見当たらない。
- ・**夜に食べ物（収穫物）を持ち去られるようで誰にも分からない。被害は西側の方が多い。（東側でも被害はある）**
- ・根こそぎ持っていくと街が減びると犯人も思っているのか少しずつ持ち去られているらしい。
- ・六芒眼で田畑を見回したが**特に魔力は確認できない。ここでのやり取りに嘘は発見できなかった。**
- ・**食糧泥棒を捕まえたら赤い金貨で謝礼を支払う**ようだ。
- ・田畑地帯を回ると、警備の戦士から痛いくらいに見られた。
- ・田畑地区をひとまわりすると30～45分かかる。

壊された門にて

- ・元は立派な木の門だったが、今は挟られて人がくぐれるようになっている。
- ・**この門を通らないと街の西側への通行はできないようだ。**
- ・門の向こう側を見るとモヒカン頭の男が歩いていた。
- ・**門は焦げた跡などなく物理的な手段（破城槌のようなものが使われたように見える）で破壊されたようだ。**
- ・門の周囲には血痕などはなかった。周囲には木の破片が転がっている。
- ・壊れた門の脇に「あーすっきりした」との落書き。
- ・モヒカンが歩いていたところに今度は妖艶な女が歩いていたが、ナイフを持っていたため偵察を切り上げて宿に戻った。
- ・**宿に戻る途中で北門の方から西地区の方へ小走りで移動する赤いメイドとすれ違った。**

田畑徹夜警戒

- ・足跡を探したがたくさんありすぎて情報にならなかった。
- ・警戒していたが、監視者一人だけと監視の目が少なすぎたためか、**二回の侵入があり二ヶ所ほど被害があったようだ。**
- ・**犯人の手掛かりは大きな男というくらい。**

到着二日目・分散行動

- ・宿に戻った一行は睡眠をとった。
- ・翌朝、一行は役場の誘拐された女性を救出する依頼を受ける班と西区の方を探索する班に分かれて行動することとなった。

【探索班】

クロウ・セフィ・ソニア・ディル・フィミア・ミヤ・ルエル

【依頼班】

ヴィック・ギーゼルベルト・フラウ・ヘラ・ミレイユ

役場にて（依頼班）

- ・朝の役場は**騎士のうち数人が戻ってきていない**と大騒ぎになっていた。探索班にそれを伝えるためにミレイユがいったん宿屋に戻る。
- ・依頼班は**誘拐された御嬢さんを救出する依頼を受ける。**
- ・『**グランドさんっていう豪商の家がある**んだけどね。**6日前のコロシラムの大会帰りに**、其処の**娘さんが護衛ごと誘拐されちゃったらしい**。**西門を抜けたほうに出て行ったという情報がある**、**目標はその娘さんの身柄の確保と引渡し**。報酬は赤大金貨7枚。**テレジアってお嬢さんだね、20歳くらいか**。犯人からは手紙が来ているよ』
- ・犯人の手紙【**テレジアという娘は預かった、返して欲しくば西門の外にある井戸の脇に100万フラクもって来い。期限は10日とする**】
- ・グランドの家は住宅街の西の方にある。大きな屋敷。手紙の現物はグランドが持っている。
- ・**依頼を受けた証として小さな紋章を買った。ゴアプルガの紋章らしい。**
- ・宿から戻ってきたミレイユは、探索班が宿屋に戻っていなかったらコロシラムの宿泊施設に泊まっていると思ってほしい胸の伝言を持って帰ってきた。
- ・依頼班はグランドの屋敷に移動した。

グランドの屋敷にて（依頼班）

- ・グランドの屋敷に移動した依頼班。屋敷の周囲に監視の影は見つからない。
- ・**恰幅の良い太った50歳ほどの男**が出てきた。騎士が事件を解決してくれると期待していたが旅人が来たことに不満を持っている様子。旅人程度では娘を奪還はできないと悲観的。犯行後既に一週間が経過している。（身代金の期限まであと三日）
- ・**騎士が期限内に絶対に助けると言っていたらしい。（行方不明になった騎士か？）**
- ・フラウに毒気を抜かれたのか犯人からの手紙を見せてくれた。内容は役場で見たものと同じ。**男が書いたと思われる手紙にはゴモラ神殿の印が押してあった。**
- ・**テレジアが護衛ごと消えたことから護衛に不審を感じる**ヘラ。護衛について**肥った男に聞くと、1年ほど前から騎士団からの紹介で雇っている旅人で変なものではなかったとのこと**。雇った護衛の数は四人。
- ・**テレジアはオレンジ色のドレスを着た黒髪の美人**。涙ほくろがある。（肖像画も確認した）
- ・飼犬の名はエース。
- ・護衛の住処は分からない。
- ・役場には奴隷商にさらわれたと言ってあったが、『**あんなに可愛いテレジアを捕まえたのは奴隷商に決まっている！**』と肥った男の主観のようで根拠はなかった。
- ・護衛は四人全員がいなくなったのかと訊いたが、肥った男はそれには答えず依頼班を急かした。

西門外の井戸にて（依頼班）

- ・グランドの屋敷から**西門の外**の井戸に移動した依頼班。途中で**腰のまがった老女**や**色気のある女盗賊**（前日の妖艶なナイフ女とは別人に見える）とすれ違った。
- ・西門を出ると正面は林に包まれた街道で、左脇に茂みと井戸がある。井戸の直径は2.5~3mほど
- ・井戸は中を覗けるタイプ。井戸の中を覗こうとしたら井戸の下から**ハイドロプレッシャー**で迎撃を受けた。
- ・井戸の中に誰かいると思って井戸の中に聞こえるように脅しをかけたが反応は無し。井戸の中からは水音しか聞こえない。
- ・茂みの中には魔法陣があった。魔法陣を調べようとする**とダークエルフの女が出現した**。ホットパンツと網タイツ。太腿に**ゴモラ神殿の刺青**がある。幻影ではない。
- ・周囲に気配は感じられず。魔法陣から出てくるまで**女ダークエルフの気配はなかった**。（転送魔法陣？）
- ・テレジアの安否がわからないうちは手が出せないと、手を出しあぐねる依頼班。そこに女ダークエルフの怪しげな技が炸裂。
- ・**ダークエルフの顔面右目周りが突然赤く光り、真っ赤な瞳が全員を包む**。依頼班全員が2ターンの間全ての行動に**-1のペナを付与された**。（抵抗不能）『ふふ… 新しい力さ』
- ・ここで戦闘となる。**女ダークエルフ（ダークエルフリーダー+α レベル9）**は呪術メインの攻撃。途中ミレイユが魅了されるが、ヘラが体力が空になるまで力を入れたホワイトサークルで**女ダークエルフを昏倒させることに成功**した。
- ・戦闘終了後、手近に安全な場所がないため街道の周りの林でフルハウスを作って女ダークエルフを尋問することとした。
- ・武装解除された女ダークエルフはあっさりと自白。（よく分からないダガーと普通の革鎧をドロップ。ダガーのみ持ってきた）
- ・茂みの魔法陣はアジトに繋がっている。アジトにいる仲間は二人。金を儲けて赤い実をたくさん買うつもりだった。
- ・赤い実はコロシウムで交換できる。赤い力は実を食べることで得ることができたようだ。副作用は不明。二つ以上食べるといけないらしい。
- ・女巨乳ダークエルフの提案で、アジトに行って人質交換することになった。

誘拐犯のアジトにて（依頼班）

- ・女巨乳ダークエルフと共にアジトへの転移魔法陣に乗った依頼班。無事にアジトまで行くことができた。
- ・アジトからは女のヒステリー声が聞こえてくる。人質になっているテレジアの声だった。相当我儘なようだ。
- ・**グランドの言葉にあったような騎士は来なかった**らしい。
- ・テレジアに相当困っていた誘拐犯との話はすぐにまとまり、女巨乳ダークエルフとテレジアの交換はすぐに済んだ。
- ・赤い実が気になるなら**コロシウムに行け**と言われる。
- ・誘拐犯たちから**赤い実三つを没収**した。（後で鑑定したがよく分からなかった）**1週間の間、何らかのパフがかかる**らしい。
- ・ともかくテレジアを連れてグランドの家に向かう。・

グランドの屋敷再び（依頼班）

- ・グランドのところにテレジアを帰した。豹変してしおらしくなるテレジア。掌を返すかのように態度が良くなったグランド。
- ・個人的な礼金5万フラクと、依頼を完了した証として札を貰い、そのまま役場に依頼完了の報告をしに依頼班は移動した。

役場で依頼完了報告（依頼班）

- ・朝の大騒ぎから一転してシーンと静まりかえった役場。女受付もぐったりしている。
- ・報酬の赤大金貨を受け取った依頼班。暇なら騎士団の方に行ってみないかと言われ、別の紋章のついた札を受け取る。
- ・この札は実績を挙げた者に与えられる札のようだ。
- ・状況を聞くと、騎士の一行のうち二人が行方不明と教えられ、住民に話さないようにと口止めをされた。
- ・依頼班は騎士団庁舎に話を訊きに行くことにした。

騎士団庁舎にて（依頼班）

- ・役場で貰った札を見せると槍兵士はあっさりと通してくれて、職員によって中へ丁寧に案内された。
- ・騎士団の部屋はお通夜状態。偉そうな男たちと沈痛な面持ちの騎士アベルが何か議論をしていてソフィーは俯いていた。
- ・アベルによると、仲間の女戦士スイセンと魔術師ブルズが行方不明になっているという。アベルは攫われたと思っているようだ。
- ・体面を非常に気にする騎士団。騎士団のメンツが損なわれるとこの国のシステムの崩壊につながる。また、アベルたちを呼ぶのに金を積んだ市長としても都合が悪い。噂が流れるとゴアプルガの街も終わってしまう。スイレンとブルズが攫われたことは秘密にしておきたい。
- ・そこで内密のうちにスイセンとブルズの捜索を依頼され、それを依頼班は受諾した。成功報酬は騎士団から出る。
- ・また、アベルとソフィーが死んだ場合には、街にはそもそも騎士が来なかったことにしてアベルとソフィーの金で次の騎士を呼んでほしいと言われる。
- ・スイセンとブルズは昨日（一行が到着した日）の夕方に西区を探索に行ったまま戻らなかった。具体的にはブルズがコロシウムがきな臭いと言ったため、コロシウムを見に行ったようだ。
- ・市長の権限でさえも、コロシウムで登りつめた男には届かない。
- ・アベルはコロシウムのチャンピオン、ガンフリーに話を訊くのが一番早いと思っているようだ。
- ・ガンフリーが3ヶ月前に敗北した試合について比較的安全に訊くにはどうすればいいかと市長に尋ねると、コロシウムの名実況者キャッチーに話を訊くのが一番だと言われた。毎週の大会では必ず彼が実況をする。キャッチーはコロシウムで生活しているらしい。
- ・アベルに赤い金貨を見せた。『この金貨は、何か得体の知れない魔力を金属に混ぜ込み作られているようだ』
- ・キャッチーにスムーズに話を訊くためには役場で貰った札を見せればある程度の身分保障になるらしい。
- ・ヘラはアベルにヴァラエル神殿の神殿長をなんとかしてほしいとアベルに依頼。アベルは時間がかかると回答。
- ・市長に赤いメイドを見たことがないかと聞くと、西区にはいかないので見たことないと言われた。
- ・コロシウムに行くにしても、まずは疲労（TP減少）を回復してからということになった。
- ・ヘラはアベルとソフィーが失踪することを想定して、アベルに紋章入りのネックレス、ソフィーに狐の毛で作られたお守りを預けた。

ヴァラエル神殿にて（依頼班）

- ・相変わらず副神殿長は会議で不在。一晩帰ってこないこともよくある。神殿長も変わらない。（引きこもり）
- ・**神殿でのTP治療を受けた。所要時間は30分。10点あたり400フラク。（200セレン）**

コロシウムへ移動する（依頼班）

- ・怪しい雰囲気のおばあさんと荒くれ者とすれ違う。『あの女高く売れそうだなあ』
- ・コロシウムの南にある木造の建物は両方ともぼろぼろで血塗れ。
- ・コロシウムの南の左側は赤いメイドの屋台だった。
- ・屋台ではお弁当と酒を販売。赤いメイドには特に刺青やマーキングはなかった。
- ・赤いメイドの名前はファラだった。

コロシムにて（依頼班）

- ・受付はごく普通のおっちゃんだった。
- ・**実況のキャッチーはVIPルームにいるらしい。**
- ・VIPルームに入ろうとしたら、見張りに止められた。**VIPルームに入るためにはVIPルーム許可証が必要らしい。**受付で発行してくれるとのことだった。
- ・受付で聞くと**VIPルーム許可証は赤白金貨5枚と交換**だった。とても払えない。
- ・VIPルーム許可証を手に入れたいなら、次の日の大会で優勝すれば良いと言われた。
- ・他に赤いコインが欲しければ交換所で買うか仕事をこなすか優勝予想の賭けで勝てばいいと言われる。
- ・**大会の出場選手やカードを知るためには次の朝（大会当日）、開催前に来れば分かる**という。
- ・**スイセンとブルズのような姿の人間は見えていない**という。
- ・受付の男は3ヶ月前からこの仕事をしているが、ガンフリーが負傷した試合は見えていなかった。
- ・**ガンフリーが負傷した試合について知りたければ、キャッチーかガンフリーから聞くしかない**と言われた。
- ・キャッチーに会うためにはVIPルームの前で待ち構えるしかないが、VIPルームから出ずに生活することが可能なうえに、外の治安が悪いので、**キャッチーがVIPルームから出てくる可能性は低い**ようだ。
- ・観客席に行ったらお昼休憩中だった。弁当を広げている観客がいた。弁当の食材はまとも。若干肉が多いようだ。
- ・試合は13時半に始まるためしばらく待たないと始まらない。
- ・**最近注目の選手は先週の大会で優勝したサジタリウスという筋肉マスクマン**らしい。
- ・観客席に探索班の姿は見えなかった。試合の告知板には何も貼ってなかった。
- ・観客によると、やはり人気があるのはガンフリーらしい。しかし、この観客も3ヶ月前の試合は見えていなかった。
- ・最近試合時間が延びた理由を聞くと、選手が強くなったからではないかと言われた。
- ・**キャッチーは大会後に必ず（コロシムの）酒場に現れる**という。
- ・チャンピオンの**ガンフリーの戦闘スタイルは爪使**らしい。
- ・**宿泊所は控室の奥にあるらしいが、そちらに行けるのは大会に出場登録をした選手だけで、出場登録をすると試合に負けるまでは宿泊所から出られなくなる。**大会前は警備が厳重になるとのこと。
- ・宿泊所の奥からは特に何も聞こえてこない。酒場も控室の奥にあるようだ。
- ・ここにはセフィやディルたちも来たようだ。
- ・大会の選手登録は当日の9時まで。大会**前日の13時の時点で登録済は50人ほど。出場選手は64人までで締め切りとなる。**
- ・赤メイドの屋台でお弁当と酒を購入。各5フラク。
- ・**南側にある木造の血塗れの建物二つは悪い人がいるので近づかない方が**良いらしい。
- ・そして、南の方に行こうとすると、大きな男の死体を毛布でくるんでいる探索班と合流した。

コロシウムへ（探索班）

- ・壊れた門までは特に誰ともすれ違わなかった。門を少し越えたあたりの地面に血痕があった。
- ・コロシウム南の建物二つはおんぼろの木の建物、印はない。コロシウム受付の周囲には5人ほどの屈強な男たち。
- ・それとは別にコロシウムの周囲をうろついている人たちもいる。真面目そうな人もごろつきのような人もいる。
- ・真面目そうな人たちは疲れたような雰囲気ですいセンと魔術師の男ブルズを探している。（行方不明になった騎士と魔術師）情報が入ったら騎士団の門の槍兵士に伝えてほしいと言われる。
- ・受付には赤いマフラー（真の赤ではない）をつけた男。『ん？あんたらが参加するんじゃないのか、選手に話を聞きたいならコロシウムに入ってみなよ。正面は客席、左は控え室、右はVIPルームだから立ち入り禁止だ』『今コロシウムって言ったら赤だからな！』
- ・コロシウムでは赤が流行っているらしい。去年は強い人の影響で黒が流行。赤が流行りだしたきっかけは参加賞。
- ・控え室に入るとさまざまな武器を持ったコロシウムの参加者が肩を揺らして息を整えたりしている。装備が赤いわけではない。雰囲気はとげとげしく、闘いの前の緊迫感。
- ・控え室の奥には宿泊所があるが、見張りが立っている。中では大会の参加者が英気を養っているらしい。闇討ち防止のため中には入れない。見張りが立つのは治安の悪化とは関係ない。
- ・試合が長引いた理由を知るには試合を見るのが一番。選手たちは何かあるとまずいから夜歩きはしない。屋台の列の向かいの建物は知らない方がよい。
- ・通常日の試合は10時～17時に開催。
- ・観客席は試合まで時間があるせいか15～20人ほどしかおらず閑散としている。お爺さんが寝てる。
- ・VIP席は一般の観客席の対面の一段高いところにあるようで一般席からは侵入できなさそう。
- ・通常日は対戦カードなどの表示はなく、試合開始時に司会が選手紹介して試合開始。その繰り返し。
- ・観客席には飲食物の売店は見当たらないが、観客は食べたり飲んだりしている。酒盛りもしている。
- ・食べ物を売っているのは受付の対面にあった屋台。観客はやることもないし食べ物が安いこともあって見に来ているようだ。
- ・第一試合のシーゲルVSフィッグ戦を観戦した。試合はフィッグが殴り勝った。
- ・アパパカルガから来た鎌使いシーゲルは拳にエンチャントがあったようだ。フィッグに殴られて鎌を落としてから殴り返した。しかし、目に力が入って本気のような感じだった。（赤い霧に動かされたようではなかった）鎌を拾った瞬間に腹に蹴りを入れられてKOされた。
- ・ゴアブルガの怪力拳闘士フィッグは全身からわずかに魔力が漏れていたが、どのような魔力かは分からなかった。
- ・試合後、控え室に行ったらフィッグと合うことができた。シーゲルは面会謝絶。
- ・フィッグはシーゲルが鎌を落とした瞬間に参ったをすと思ったら殴り返してきたのが意外で不意を突かれたという。
- ・シーゲルは前は秒殺当たり前でへっぴり腰だったのに最近強くなったらしい。
- ・フィッグは魔法が使えないと言っている。武器は邪道らしい。コロシウムで魔法を使うのは感心しないという様子。名誉ではなく生活のために戦っている。赤い金貨を売って家族を養うので必死。
- ・ガンフリーは爪使いのようだ。力強く舞うように戦う。
- ・赤金貨の交換所は秘密ということになっている。コロシウムの周囲を探せば見つかるかも？
- ・ルエルとクロウとソニアはコロシウムの北西に全高6mほどのリアナ像を発見した。
- ・セフィとミヤは赤メイド屋台を発見。赤いメイド服のデザインはサルメで見たものと同じだった。（着ている人は違う）
- ・屋台の赤メイドに聞いても赤金貨交換所の場所は秘密だった。人の流れから交換所の場所を探ろうとしたが、時間が悪く誰もいかない。
- ・赤いメイドに壊れた門の近くの血痕について聞いたら、どこかの神殿の偉い人が襲われた跡だと言われた。
- ・コロシウムに裏口は見つからない。

リアナ像にて（探索班）

- ・リアナ像の前には赤い鎧の男がいた。ここは神聖な場所らしい。
- ・エリュティア様の像。中はそれほど広くない。魔力で超ピカピカ。魔力の流れが街全体へ…というわけではなく像だけでピカピカ。
- ・像の中は真っ赤な空洞だった。
- ・赤い鎧の男は像に入ると真理が見えるかもしれないと言うが…
- ・聖母の像。それだけで十分らしい。
- ・ルエルとソニアとセフィが像の中に入って、レベルドレインをされて、レベル5まで力が落ちてしまった。さらに必殺技スロットの一番下にある必殺技/鉄壁防御を封印されてしまった。
- ・『それはもう、中に入って心を洗ってきれいな心で見つめるのさ』『どこでもいい、心の目で見るのさ』
- ・女戦士と魔術師の男を見なかったか聞いたが見なかったらしい。
- ・ミヤが赤い鎧の男と合ったことがあった。エリュティア神殿の聖騎士カガミだった。
- ・こんなところまで官憲は来ない。だからお縄になることはない。
- ・ドレインされたレベルを取り戻す方法はあるようだ。シナリオが終わったら自然に戻るようなことはない。

再びコロシウム（探索班）

- ・ぐるぐる回っても換金所は見当たらない。
- ・弱い奴を見たら襲おうと思っている荒くれと会話をする。
- ・前日（一行がゴアプルガに到着した日）に色々な人に声をかけて情報集めをしている人を見たらしい。結局悲鳴を上げていたとのこと。『私は騎士だぞ』と叫んでいたらしいが南の方へと連れ去られた。
- ・情報料をせしめた荒くれはチャンピオンに賭けるつもりらしい。チャンピオンのオッズは2.5倍。
- ・赤いコインを握りしめて夜市の方に行く人をよく見かけるらしい。
- ・トカルチョは屋台の裏で受け付けている。
- ・交換所を探しに夜市の方へと移動する。

夜市への移動中（探索班）

- ・夜市へと移動すると、暇そうに歩いている赤い女騎士メルヴァと遭遇した。紋章はつけてない。真っ赤な両手剣だけ持っていたが詳細は不明。
- ・スイセンとブルズを探していると聞いたら、スイセンは奴隷商に捕まったと教えられた。ブルズの行方は知らないようだ。奴隷商の住処は知らないらしい。
- ・ガンフリーを倒しそうになったのはメルヴァらしい。ガンフリーは強いとのこと。
- ・夜市の方を見ると赤いメイドが座っている露店があった。

交換所にて（探索班）

- ・交換所にいた赤いメイドは四天王にしてパレスナーのシオンだった。
- ・交換所の収益はすべてエリュテイア神殿に流れている。
- ・営業時間は10時～18時。休憩1時間。期間は飽きるまで。
- ・対面にある血塗れな木造の建物は闇の宗教のたまり場。見ると人はいなさそうに見える。
- ・奴隷市は昔からある文化。シオンも拉致されそうになった。でも、奴隷市には興味ないらしいのでどこでやっているかは分からない。
- ・男には興味ないのでブルズのことは分からない。
- ・シオン『もっと世界の皆さんを幸せにしてあげたくって』
- ・探索班は闇の勢力のたまり場の方へと向かった。

闇の勢力のたまり場にて（探索班）

- ・争った跡や引きずった跡がそこらじゅうにある。
- ・大体の引きずった跡は南の方へと向いている。
- ・途中で仮面をかぶった大男とすれ違う。賞金首のゴズだった！
- ・ゴズはイセベルのキチガイ戦士でレベル11だった。声をかけた瞬間自動的に大斧で殴られた。
- ・探索班はゴズと戦うことにした。
- ・周囲で手を出してきそうなのは、闇の勢力のたまり場に5人ほど武装した誰かがいるくらい。武器は刃物が多い。人間の臭い。魔力の反応はあまりない。
- ・ゴズとの戦闘。レベル11のウォーリアでバーサークしている。目は血走っている。
- ・騎士宣言はスルーされた。初手でホワイトスプラッシュ。
- ・ゴズの自動反撃に苦しみながらも超絶火力の集中でゴズを倒した。
- ・ゴズを倒したところで依頼班と合流した。

合流

- ・一行は合流して、ゴズの死体を役場に運び込んで報奨金を受け取った。
- ・奴隷商に拉致されたというスイセンを探しに一行の中からシーフ全員でシーフギルドを探すことになった。
- ・残りのメンバーは宿屋で休憩することになった。

奴隷商の情報を求めて

- ・ソニア・フォルトウナ・ヘラ・ミレイユのシーフ四人は奴隷商の情報を求めてシーフギルドを探した。しかし、**東区どころか西区にすらシーフギルドが見つからない。**
- ・困り果てた四人はスイセンが連れ去られたという南の方向へと向かい、**街の南門の外に捜索の目を伸ばした。**
- ・途中、交換所のシオンを横目にしながら、ホームレスのようなおじさんとすれ違いつつ進んでいく四人。
- ・そして、**南門の先に小屋を見つけた。**小屋の先は開けた街道になっている。
- ・小屋の周囲に人気はない。警戒をしながらも時間が差し迫っているため畏の警戒に使い時間もない四人。
- ・**小屋の中は色々な拘束道具が置いてあった。どうやら監禁小屋だったらしい。**埃が積もってないのでよく使われている小屋だ。
- ・シーフ組は**小屋の中に破れた騎士の紋章や鎧の部品を拾う。**
- ・足跡を見つけたフォルトウナの先導で進んでいくシーフたちは**小屋から5分くらいの場所に50m四方の劇場のような建物を発見した。**
- ・劇場の中からは悲鳴が聞こえる。**おそらく奴隷市場**なのだろう。
- ・**入り口にはいかにも悪そうな顔の姐御が見張りをしている。**
- ・劇場が大きいこともあり強行突入はできないと判断したシーフたちは魔法を使った強行偵察をすることにした。

奴隷市場にて

- ・探知の魔法が効くようにヘラから指輪を借り、**魔法で存在感を消して劇場のような建物に侵入したミレイユ。**
- ・**姐御の横を通り過ぎて階段を下りていくと開かれた扉の向こう側に劇場があった。**
- ・**観客席の向こう側には一段高いステージ。左右には控室。今はオークションかショーの準備中**といった雰囲気。
- ・聞き耳を立てながら奥の方へと侵入しようとしたミレイユだが、**観客席に通路に近づこうとしたときに観客席に座っている振り向かないままの見た目は20代前半の赤い魔女に呼び止められる。**
- ・『あらあ、それ以上は近づかない方がいいわよお』
- ・**観客席にはあと数人だけ。荒くれや女王様のような連中は気づいていない様子。赤い魔女だけと会話をする。**
- ・売られたくないなら帰れと言われたミレイユ。互いに名乗り合って、**勝ち目がないと判断したミレイユは撤退した。**
- ・**赤い魔女はエリュティア四天王の一人、赤い魔女のアキだった。**

いったん宿屋へ撤退

- ・シーフたちは劇場の中の様子から、**アキが消えるまで待つてから再挑戦するしかない**と判断。ヒントを得るために**夜市にいるシオンに会いに行く**ことに。
- ・換金所で店仕舞をしているシオンと会話をするシーフたち。
- ・苦労して話の糸口を掴んで、**シオンがエリュティアの四天王で、この後三人で女子会をする**という情報を得た。
- ・**三人は、おそらくアキとシオンとメルヴァのはず。ならば女子会の間は劇場にアキはいないはず。**女子会をしに来た方向へと去るシオンを見送って、一旦宿の仲間のところに戻って**体勢を整えてから奴隷市場へスイセンを奪還しようと、シーフたちは宿へと戻る。**

分散行動開始

・宿屋に集結した一行。今すべきことを話し合い、二つに分散することとなった。コロシウム北西のリアナ像に行きカガミと対決する部隊と、南門の外にある劇場に囚われているであろう女戦士スイセンを救出に行く部隊に。スイセンを救出しに行く部隊は時間的余裕がないため先行して出発し、カガミと対決する部隊は十分な休息を取ってから出撃することになった。

【対決班】

ヴィック・セフィ・ディル・フラウ・ミヤ・ルエル

【救出班】

ギーゼルベルト・クロウ・フィミア・ヘラ・ミレイユ

リアナ像へ（対決班）

・壊れた門を通り過ぎて、周囲の注目の中リアナ像へと進んでいく対決班。
・リアナ像にたどり着いてみると、**赤い騎士カガミが四天王の一人メルヴァに怒られているところだった。**
・**カガミはセフィたちに挑発されていたと主張。メルヴァはこれから女子会らしい。**
・マゾ扱いされるセフィとソニアとルエル。カガミが神（リアナ）のテキトーな神託をテキトーに受け取って、戦闘が始まる。

・**明らかになるメルヴァの能力の一端。**

【赫聖騎士宣言】 その戦闘での（騎士や貴族などの）宣言系スキルは全て無効となる。

【赫魔王剣】 魔王剣（暗黒剣、デモンズブレイド、ドレインエンチャントの効果、ベース70）をカガミに付与

【ブラスター】 最大HPを半減させて現在HPを1にする呪い。固定値20

・ついでに明らかになった事実：外伝第一話で得られた報酬アイテム『両手剣クラウソラス』の材質はオリハルコンだった。

・カガミの敏捷は24 回避固定値は15 魔法抵抗固定値も15、赤い金属鎧着用

・カガミの得意技、**トゥルー・オブ・ザ・レッド**が炸裂（しかもクリティカル）

・しかし、ディルの超絶火力が炸裂しカガミはあっさり気絶。メルヴァから放たれた呪いも気合（クリティカル）で弾き飛ばすディル。

・対決班は勝利を収めた。

奪還そして謎解き（対決班）

- ・対決班の勝利となり、メルヴァはリアナ像に入ると赤い宝玉を出してきた。レベルドレインされたメンバーはその宝玉に触ってドレインされた能力を取り戻す。ついでに利子だろうか経験値5000を手に入れた。
- ・そそくさと女子会に行くメルヴァ。取り残されたカガミにリアナ像を設置した狙いを聞くセフィ。
- ・この街にリアナ像を作ったのはエリュティア神殿が知られていないから。この場所（コロシラムの北西）に作ったのはこの街の強者のレベルを吸い取り、実力を馴らすのに便利だから。実力を馴らすのは街を支配しやすくするため。
- ・街の治安が悪くなったのは『全員同じレベルなら数が強い方が勝つから。そしてエリュティアの者だけがレベルが高いから』
- ・『レベルが低いものは底上げすればいい』コロシラムの試合時間が伸びたのは全員の実力が均質化されたから。
- ・コロシラムへの通常の試合には無料で参加できる。参加賞で赤金貨一枚が貰える。その赤金貨で赤い実を買うことができる。こうして赤い実は広く行きわたる。赤い実の効果は一週間だけ。だからみんな赤い実を手に入れようと必死になる。赤い実で強くなって略奪をして、弱くなったらまた赤い実を食べる。
- ・赤い実は四天王の一人アキが魔力を込めて作っている。
- ・カガミが把握している限り、一行以外にドレインされたのは、この街の神殿長（おそらくヴァラエル）と騎士の一人。

奴隷市場へ（救出班）

- ・とげとげしい雰囲気ですり中から見られる中劇場へと移動する救出班。監禁小屋からは何も聞こえない。
- ・劇場の見張りはマスクをかぶった男。劇場の中からは争うような怒号が聞こえる。多少騒いでも大丈夫な襲撃のチャンス。
- ・ギーゼルベルトとクロウとフィミアで見張りを引き付けている間にヘラとミレイユが魔法で姿を隠して劇場の中に入っていく。
- ・奴隷オークションは翌日の昼開催。奴隷カタログを押収するギーゼルベルト。ギーゼルベルトたちをオークション荒らしと断定して斧で殴りかかるマスクマンだが、三人にあっという間に粉砕されて緊縛された。
- ・マスクマンを治療して尋問するギーゼルベルトたち。闇の勢力に属するマスクマンだがエリュティアのことは知らない。無能の烙印を押された今赤い実はもう回ってこない絶望する。
- ・この街の闇の勢力は、イセベル神殿とゴモラ神殿の合同体となっている。
- ・この街の闇の勢力では赤い実はなくともならないものになっている。
- ・一方、ヘラとミレイユは魔法で姿を消したまま劇場に潜り込む。劇場のステージ上では5人の男女が赤い実を奪い合っている。その隙に左側の控室に全裸で縛られている人間と亜人の女たちを見つけるがスイセンの姿はなかった。反対側の右の控室にスイセンが無残な姿で囚われていた。
- ・ヘラに介抱されて少し回復するスイセン。スイセンを確保することができたところでステージ上の様子を見ると五人は酒盛りを始めていた。ミレイユがピュプクラウドで眠らせてヘラが武装を解除。赤い実と赤金貨を押収して左側の控室に囚われていた人間と亜人の女たちも救出し、外のギーゼルベルトたちに再合流する。
- ・救出班は救出された女たちを連れて街を迂回して東門から騎士団庁舎へと向かう

騎士団庁舎にて（救出班）

- ・騎士団への移動の途中で街の外にお洒落な酒場があるのを発見。ヘラが店を覗くと、赤い三人組（アキ・シオン・メルヴァ）が機嫌良さそうに女子会で盛り上がっていた。
- ・すっかり忘れられていたブルズだが、どうなったのかはスイセンにも分からないらしい。
- ・騎士団の門番をしている槍兵士に聞くと、アベルは単身コロシウムに出かけ、ソフィーは泣き疲れて寝たとのこと。
- ・ソフィーを叩き起こしてもらって、スイセンを帰し、一緒に救った女たちのことも保護してもらうことに。
- ・ソフィーによるとアベルは明日の大会に出るつもりらしい。
- ・ソフィーからの礼金をまだ事態が解決していないから受け取らないと預けるヘラとクロウ。
- ・新しい情報が入ったら宿の方に教えてくれるようにとスイセンに依頼するミレイユ。
- ・どうやらこの街にシーフギルドはないらしい。裏社会は闇の勢力（イセベルとゴモラの両神殿）が牛耳っているからか。
- ・ギーゼルベルトとフィミアは宿に戻って、クロウとヘラとミレイユは女子会の会場になった酒場へ移動する。

女子会

- ・街の東門の外にあるお洒落な酒場。胡麻料理が名物らしい。クロウとヘラとミレイユも店に入って飲み食いしながら聞き耳を立てる
- ・出てきた料理：胡麻パン、胡麻団子、野菜の胡麻油を使った素揚げ、サラダ（胡麻ドレッシング）、辛めの胡麻金平、チーズに胡麻油をつけて食べる、燻製肉の担担ソース
- ・女子会のお話
 - (1) リアナをいかに捕まえて拘束するか。マジックアイテム、罠、カズク。色々な方法があるらしい。失敗してお仕置きされるのも楽しい。全部吸い取られる
 - (2) 赤い実を食べさせた誰かをリアナに特攻させる。しかし、それだとお仕置きが貰えないからつまらない
 - (3) リアナを空っぽにしたい。いや、そもそも空っぽにならない。星の力は無限。
 - (4) 大会の翌日にシェルディナ（四天王の残りの一人）も合流する。
- ・ヘラが押収した赤い実を転がしていると、酔ったアキがやってきて変な模様のついたスペシャルな赤い実をくれた。スペシャルな赤い実の詳細は手に入ったものリストに掲載。
- ・赤い実についての詳細がわかる。効果は手に入ったものリストに掲載。
- ・スインカーコアを食べれば普通は死ぬ。
- ・アキは大会を見に行く。シオンは店番。メルヴァも大会に行く（出場か観戦かは不明）
- ・お会計のついでにマスターに大量の赤い金貨を渡すメルヴァ。
- ・ぐだぐだのうちに女子会は終わった。ミレイユはすっかり酔っ払いになった。

到着三日目・分散行動

・三日目。一行は大会に出場して出場者にしか見えないところを探索しつつ大会自体も調べる大会班と、行方不明になっているブルズを探索する探索班に分かれて行動することとなった。話し合いの結果、以下のように分散して行動することとなった。

【大会班】

ディル フィミア フラウ ミヤ ミレイユ ルエル

【探索班】

ヴィック ギーゼルベルト クロウ セフィ ソニア ヘラ

コロシウムへ（大会班）

- ・コロシウムに行く前にグレートワズに祈るルエル（アイコン）
- ・コロシウムについてみると大賑わい。参加をためらっている姿も見られる。
- ・紆余曲折の上で、**大会に参加するのは、フラウ、ミレイユ、ルエルの三名になった。**
- ・大会出場にあたって、それぞれ自己アピールを20字前後で書かされる。

フラウ【かぞくのために、がんばります。】

受付『いいねいいね、おじょうちゃん頑張りな！』

ミレイユ【見た目はか弱いエルフの女。しかしその実体は？】

受付『書いてて自分で恥ずかしくならないのかい？』

ルエル【愛の使徒☆聖女ルエル、がんばります♡】

受付『おーけーおーけー』

- ・そして、**トーナメントの組み合わせがランダムで決定された。（後ろの方に掲載）**
- ・出場者には**ゼッケン**が配られた。ゼッケンの裏には鍵がついていてそれが専用宿舍の鍵になっている。よって自分以外の部屋には入れない。
- ・**参加者の行動範囲は観客席・控室・宿泊施設・酒場（コロシウムから出られない）**
非参加者の行動範囲は観客席・控室・コロシウム周辺

出場者たち（大会班・出場者）

- ・控室の雰囲気は通常日に比べて殺伐としている。
- ・宿泊所の中は個室が何室も重なっている感じ。**部屋は寝るスペースしかない**。部屋の中を探すと赤い**実**が一つ置いてある。赤い実を鑑定すると、バフ効果と深度がつく効果がありそれも一週間で消えることが分かった。（詳しくは入手したもののリストに）
- ・酒場に行くと誰もいない。バーテンすらいなかった。
- ・赤い実を摩り下ろして作ったらしい赤い酒が残っていたのでルエルが鑑定するがよく分からない。
- ・控室には赤い仮面をつけた赤い騎士がいた、あとは筋肉隆々の男とか、槍騎士とか、拳闘士とか、魔法使いとか、勇者とか、色々いる。魔法使いは他国の軍人のようだ。**ガンフリーの姿はない**。
- ・赤い仮面の騎士と会話をするミレイユ。やはりというか**正体はメルヴァ**だった。
- ・メルヴァが喜べる情報があったらしいが内容についてははぐらかされた。**ミレイユがガンフリーに勝ったら教えてくれるように約束した**。
- ・ベルア（アベル）に接触すると怒りに身を震わせていた。レベルは9のままのようだ。
- ・スイセンを救出したことを伝えるとお礼を言われ、さらに**ブルズが前日の試合に参加していた**ことを教えられた。しかも**乱暴な試合**だったらしい。ブルズは魔法使いのはずだが、大会出場者の中にはブルズはいなかった。
- ・アベルに、赤い実に対しての注意喚起をする。自分で手に入れた力以外は認めないというアベル。しかし、ガンフリーに勝つ目的を訊くと『**優勝して、このコロシウムを僕が統括する。そして是正するのだ**』どこかおかしい。**アベルがそう思った理由を考えようとしたら赤い呪いが降ってきた**。（ファンブル）
- ・酒場に行って赤い酒を鑑定するミレイユ。レベルが上がりそうな効果があるようだが詳細は不明。飲まずにおいた。
- ・試合開始30分前になっても控室にはガンフリーの姿は現れない。

観客席（大会班・非出場者）

- ・観客席は大混雑で座れないほど（席は確保できた）
- ・ミヤが見た感じでは**田畑地帯で働いていた者までほぼ全員見**に来ていた。
- ・VIP席では赤い魔女がポップコーンを食べている。
- ・一般席にも赤い神官がちょこちょこいるようで和気あいあいとピクニック気分。リアナがポテチを食べているのを発見。
- ・フィミアが観客席をざっと見まわして選定をすると、VIP席にレベル12（アキ）、一般席にレベル11（リアナ）、レベル8（青いおしゃれな浴衣のおっとりした女。帯に小刀）がいた。
- ・リアナと会話をする非出場者。**面白いものが見られます。ぜひ来てください。と言われて来てみれば像を作られていてご立腹**。でも、自分で像を壊すのは微妙らしい。飽きたらワープして帰るつもり。言えばVIP席にも行けたが借り（おそらく四天王に対して）を作りたくないのだからVIP席の許可証は貰ってない。青い浴衣の女はリアナも知らないようだ。
- ・一般席からコロシウムに飛び込むとしたら5mくらい飛ぶ必要がある。

選手入場（大会班）

キャッチー『週に一度のお楽しみ、ゴアブルガが誇るコロシウムでの大会の時間が今週もやってまいりました！』

キャッチー『実況はおなじみ、キャッチーが担当させていただきます！』

キャッチー『それでは、さっそく、今日の総選手入場！』

（コロシウムの控え室に職員がやってきて、ひとりずつコロシウムの中央に招いていく）

キャッチー『エントリーナンバー29番！ 冥府の誘いに鎌とはよく言ったもの！！ 達人の鎌術が今、実践で爆発する！
アパカルガ発 冥の鎌使い、シーゲルだあ！』

（ハイテンションな選手入場が始まる）

キャッチー『真の赤を知らしめたい！！ エリュテシア四天王が一人、メルヴァだア！！！！』

（観客席で花粉症に苦しみつつ露骨に嫌な顔をするリアナ）

キャッチー『神殿の仕事はどーしたッ 闘士の炎 未だ消えずッ！！ 治すも壊すも思いのまま！！ ヴアラエルの副神
殿長 サイガだ！』

（主にPCからブーイングを浴びるヴァラエル神殿の副神殿長サイガ。そして、一際歓声が高く上がると、中から長身のバンダナをつけた爪を構えた選手が現れる）

キャッチー『若き王者が帰ってきたッ！ どこへ行っていったンダッ！ チャンピオンッッ 俺達は君を待っていたッッッ ガン
フリーの登場だ—————ッ！』

（細めの男が皆に向かって愛想よく爪を振っている。しかし、顔が青い）

キャッチー『見た目はか弱いエルフの女。しかしてその実体は？ ふとももとメガネがチャームポイント、飛び込み参加
のエルフ娘、ミレイユだ———ッ！』

（わざわざヒールに履き替えて、アサシンドレス姿で右手を挙げて出ていくミレイユ）

キャッチー『自分を試しにゴアブルガへきたッ！！ 騎士団にはないしょだ！！ 騎士が一人勇者アベルが来てくれ
た———ッ！』

（仮面をつけて偽名で参加したのにしっかりばれて困るアベル）

キャッチー『組み付きしだい愛してやる♪ 愛の使徒☆聖女エル、がんばります♡』

（ルエルに対して響く ひゅ————と黄色い悲鳴）

キャッチー『かぞくのために、がんばる異種族、謎のあくまっこ、フラウだ———ッ！』

（フードをあげてそこそ此行儀よく観客席に一礼。緊張でぎこちないフラウ。しっかり種族がばれている）

キャッチー『加えて負傷者発生に備え超豪華なリザーバーを4名御用意致しました！ なぞのあかいの リアナ！！』

（観客席でリアナが思わず噴き出した）

出場選手が64人もいるだけあって、選手入場だけで30分を費やしてしまう。

参加者が用意したコピーに謎の付け足しが加わって焦る参加者たち。ディルは参加しなくてよかったかもしれないと安心するのだった。なお、謎の付け足しを入れた容疑者は種族を見破る名人として知られる赤い魔女アキ。

一回戦（大会班）

フィールドのサイズは直径20mで、初期の相対距離は5mから開始される。

- ・メルヴァは相手を軽く峰打ちして勝利。（高速処理）
 - ・シーゲルは早々に敗北。（高速処理）
 - ・副神殿長サイガは勝利。（高速処理）
 - ・ガンフリーは試合前に謎の赤い液体を飲み勝利。（高速処理）
- ・赤い液体を飲んで勝利するガンフリーを見てルエルは神に赤い酒を飲んで赤い実を食べたら面白くなるか神託を仰いだ。

神『レベル9なら変わる余地があるので飲んだり食べたりしたら面白そうです』

そして、赤い酒を飲むルエル。運命のダイス（1d50）が転がった。

**ルエルはレベル10となり、敏捷+6、与えるダメージはすべて+2、
受けるダメージもすべて+2、深度5を付与された。**

深度5：赤と自分の欲望の為には何でもしたくなる。赤いものの攻撃する場合、毎回精神抵抗20が必要。

「赤」の洗礼を受けた状態になる。赤いものに攻撃できない。

プリースト技能があればそれをレベルそのままエリュティア神殿のダークプリーストにすることが可能

- ・ミレイユはレベル6のモンクにTP6を消費して勝利。（高速処理）
 - ・ルエルは無消費で相手を叩きのめした。
倒した方法は不明だが、笑いながら光のメイスをぶんぶん振っているルエルが目撃されている。（高速処理）
 - ・フラウはレベル5の斧戦士と対戦した。（通常処理）
1ターン目：ダークソードからのソウルブレイクでHPとTPを同時に削るフラウ。
対する斧戦士は移動攻撃（ラ・フィン）をかけるがフラウの尻尾を覆う装甲に弾かれて届かない。
しかしここで赤い力が発動。避けたはずの攻撃が戻ってくる…かと思われたが、
斧がすっぽ抜けて観客席に飛び込んだ。
斧戦士の降伏によりフラウが勝利した。
- ・試合の裏ではミレイユがルエルの状態を確かめている。ルエル自身には赤に染まったという意識はないが、明らかに深度が深まっているのが分かる反応。

昼食タイム（大会班）

- ・一回戦の様子に帰りたいそうだったが、もぐもぐとお弁当食べてるリアナ。お忍びなのにいたのがばれたからお仕置きをしていくようだ。
- ・リアナに、悪魔だということがばれたが大丈夫なのかリアナに聞きに行く。この国では討伐対象だとさりと答えるリアナ。しかし、続く言葉で野良暗黒騎士であることはあまり関係ないらしいことが分かった。どうやら**フラウの種族を見破ってキャッチーに教えたのはアキのようだ。**
- ・ミレイユは観客席の仲間たちに、控室や宿舎や酒場でのことを報告し、ルエルが赤堕ちしたと仲間に明かす。
- ・ルエルは酒場でガンフリーと接触する。赤い飲み物を飲むと調子が良くなると語るガンフリー。

二回戦（大会班）

・昼食後始まった二回戦は実力が伯仲してきたせいか試合時間が長くなる。全ての試合で魔力的な異常を観測するミヤ。

・メルヴァは相手をひと睨みで降伏させた。（高速処理）

・サイガは苦戦したが、回復を使って接戦をものにした。（高速処理）

・赤いドリンクと赤い実を両方摂取した時点で能力が消えていなければバフが重複する仕様らしい。

・ガンフリーは両手の爪をドラゴンのように構えて赤いオーラ砲で相手を粉碎。（高速処理）

・ミレイユはレベル7の20代後半の鞭使いの女が対戦相手。初戦は鞭で相手男性をしばき倒したようだ。（通常処理）

エロ担当同士の対戦だとつっこまれても緊張で気づかなかったミレイユ。

1ターン目：ミレイユは自分のレイピアにエンチャントサンダーで終了。

鞭女はパラライズキスを放つがミレイユは軽くあしらう。

パラライズキスは本来サッカバスが角を出さないと拡大できないが、

鞭女は普通の外見のままでも拡大してみせた。おそらく赤い実の仕業だろう。

2ターン目：ミレイユの雷を纏ったスプラッシュファント。（スプラッシュファント・エクレール）

クリティカルが出てしまい、**相手を殺してしまうところを、**

ミヤの願いの力（超英雄P）で何とか殺さずに済んだ。

ミヤに大きな借りを作りつつのミレイユの勝利。

・アベルは大した消費もなく勝利。（高速処理）

・ルエルはレベル7の格闘家の男にTPを5消費して勝利。（高速処理）

・フラウはレベル5のデスペラードの男レイリと対戦。（通常処理）

レイリの腕は不自然なほどの筋肉がついている。（赤い実で筋力+12されている）

開始時にタイマンを発動するレイリ。

1ターン目：暗黒騎士宣言と共にテラーフィールド+ファイアフィールドを展開し、

さらに剣に暗黒を纏わせるフラウ。（ダークソード）

両手剣二刀流のレイリは暗黒騎士宣言にも動じない。（抵抗成功）

しかし、ファイアフィールドにより気圧されてじりじりと後退（3mノックバック）

自棄になったのか両手の剣を投擲するレイリ（ソニックブーム）だが、

フラウは一方をかわしてもう一方を鎧で弾く。まったく無傷なフラウに焦るレイリ。

そこに距離を詰めて斬りかかるフラウだがこちらは追撃の連携技も含めてレイリにかわされる。

2ターン目：暗黒騎士宣言とテラーフィールド+ファイアフィールドで降伏を迫るフラウ。

レイリは暗黒騎士宣言で気圧され、ハグを試みる体勢のままでも啞然としてしまう。（恐怖判定結果）

レイリの戦意喪失によりフラウの勝利。『変な人だった』とはフラウの感想。

・ルエルは至って機嫌良さそう。ミレイユは戻さなければと焦るが、ルエルは何を戻すのかと自覚がない。

サルメの街でのガラムとエティリスのような状態だと言われるが、楽しそうだったとの素直な感想を漏らすルエル。

三回戦（大会班）

- ・三回戦が始まる。この試合が終わると勝者はいったん全回復を受ける。
- ・メルヴァは暇そうに勝利。サイガはほとんど活力（TP）を使い切りながらも勝利。アベルもなんとか勝利。
- ・ガンフリーは赤いオーラを爪にまとわりつけて勝利。
- ・ミレイユの相手はレベル8の赤いメイド、リア。（通常処理）
 - 1ターン目：ミレイユのハイドロプレッシャーをキリエ・エレイソンであっけなく防ぐリア。
リアは赤い衝撃波（ゴッドアングラー）を放つ。
しかも赤い祝福が乗って（1ゾロを6ゾロに転換）ミレイユを瀕死（残りHP: : 1）に追い込む。
 - 2ターン目：リアは降伏を促すがミレイユは拒否。
ミレイユは星霊の力を借りて回復（フレイムライフ）。
リアは歌でスカート内部のホルスターから取り出した4本のエリュテティアナイフを操って終了。
（歌唱・極+ダンシングウェポン?）
 - 3ターン目：ミレイユはライトセイバーでリアに斬りつける。
大半の体力を削られたリアだが降伏を拒否。エリュテティアナイフが一斉にミレイユに襲いかかる。
しかし、ミレイユは爆風（魔界呪文ダムドロー）でエリュテティアナイフを全て叩き落とした。
- 3ターン目終了時にリアが降伏。ミレイユの勝利となった。
- ・試合を前にして赤い酒をダブル飲みできないか問い合わせるルエル。
実は赤い酒はダブルで飲めることが発覚する。
しかも、深度8が存在することが明かされた。
- ・ルエルの相手はレベル8の軍人のような外見のロード。その名もグレイグ。装備は盾とレイピア。（通常処理）
 - 1ターン目：馬鹿みたいに長い名乗りを上げる（貴族宣言）グレイグ。
キラードッシュで突っ込むグレイグだったが、ルエルのキリエ・エレイソンで阻まれる。
そして、ルエルは圧倒的な赤い魔力を解き放ち、グレイグの精神を破壊した。
（インサニティ）
こうしてルエルは深度5で得たダークプリーストの力を使ったのだった。
- 狂って『ひゃっはー！』と叫んでコロシウムを走り出したグレイグ。
そのまま服を脱ぎはじめ、10分間かかって係員に取り押さえられた。ルエルの勝利。
- ・フラウの相手はレベル7のベルセルク。ホッケーマスクのようなものをかぶり、両手斧を二つ諸手持ちになっている巨漢。
恐れを知らないベルセルクは暗黒騎士にとって相性が悪い相手。それに勇気を振り絞って立ち向かうフラウ。
 - 1ターン目：暗黒騎士宣言もテラーフィールドもファイアフィールドも一切効果がない。
仮面の奥でにやにやしながら力を溜める（渾身）ベルセルク。
切り札の一つデモンズブレイドを使うフラウ。ダインスレイフの刀身が伸びベルセルクを横薙ぎ。
ダメージには強いベルセルクの肉体だがソウルブレイクがベルセルクの活力を奪い取っていく。
反撃の斧が左右から襲いかかるが、片方を剣の腹で滑らせて逆に打ち返すフラウ。
もう一方を剣で受け止めてダメージを殺す。（グランドディフェクト）
 - 2ターン目：フラウはダインスレイフにさらに闇黒の力を注ぎ込み、ガードを捨てて削り合いを挑む。
（ダークソード+フューラー）フラウは観客たちをも煽るかのよう。
ベルセルクは左手の両手斧を捨て右手に持っていた両手斧を両手で構えて力を溜める。（渾身）
フラウは跳躍と共に唐竹割にダインスレイフを打ち下ろした。
ベルセルクの肉体は一撃を耐え抜いたが、大量の活力をダインスレイフに奪われた。
フラウを見続けたまま、ベルセルクはゆっくりと前のめりに倒れ、激闘はフラウの勝利に終わった。

ちよっぴり休憩（大会班）

- ・激闘から戻ったフラウに飛ぶ称賛の声。
- ・フラウは次の準々決勝での対戦相手がルエルであることに悩んでいた。
仲間に剣は向けたくないと相談するルエルとフラウ。
片方が棄権をしようかと相談するが、天の声が棄権が発生するとリザーバーが出てくると警告。
リザーバーの中にはリアナ本人も混じっている。
相談した末に二人は結論を出した。

準々決勝/前半戦（大会班）

- ・最初の試合はルエル対フラウになった。
素手で女の子同士の殴り合いをする二人。観客もそれなりに盛り上がった。（高速処理）
結果はレベルで大きく勝ったルエルの勝利。
- ・第二試合はヴァラエル神殿の神殿長サイガとエリュティア神殿の四天王の一人メルヴァ。（高速処理）
サイガの真意は街を赤で汚染しようとする者を倒すことだった。
サイガはフレイルでメルヴァに挑みかかるがふるぼっこにされ、涙を流しながら気絶して果てた。
- ・第三試合はアベルが勝利したようだ（描写無し）

準々決勝・後半戦（大会班）

・第四試合はガンフリーとミレイユの一戦。（通常処理）

赤いドリンクを飲むガンフリーはボスランク持ち。

爽やかな笑みを浮かべるガンフリーに憎まれ口を叩くミレイユ。試合前にミレイユはバフをかけている（ヒーロー）

1ターン目：意拳の使い手ガンフリーは素早い動きで主導権を握る。（先之々・軍雄舵（虎））

いきなりの飛び込みから両手の爪で突きを放つガンフリー。（撲虎落地勢）

バックステップしてかわすミレイユに対し、ガンフリーは驚異的なバランス感覚で転倒しない。

反撃で虎の子のミスリルアローを連射するミレイユ。（アロークイッケン）

片方が命中するが、弓で射られたことはあまりないとガンフリーはまだ余裕。

2ターン目：もう逃げるスペースがないミレイユは弓を諦めて接近戦に切り替える。

一方のガンフリーは素早い攻めで主導権を離さない。（先之々・軍雄舵（虎））

ガンフリーが気合を込めると龍の口を象った爪が赤く光り、素早く距離を詰め四連打。（四花楼槍）

ミレイユは一撃目を受けてしまうが、狙いの甘い二撃目に合わせてローリングスタブで反撃。

薄水色のライトセイバーの光の刃がガンフリーを切り裂く。

見慣れないミレイユの武器に驚嘆するガンフリーに、素敵なドリンクにはかなわないと返すミレイユ。

ほとんど零距离からありったけの魔力を籠めてマジックミサイルを発射する。（ダメージ9倍拡大）

ガンフリーの体を覆う赤いオーラに阻まれてマジックミサイルは思ったほどのダメージを与えない。

しかし、軽く膝をついたガンフリー。少しは効いたかと声をかけるミレイユ。

3ターン目：相変わらず主導権を握り続けるガンフリー。（先之々・軍雄舵（鶴））

両手から、気を練り上げて遠当てをかけてくる。（斬・気功砲×2）

狙いの甘かった右手の気功砲を避けてローリングスタブに入るミレイユ。

しかし、ダメージで握力が弱っていたのかライトセイバーが手を離れてしまった。（命中フアンブル）

さらに絶妙のタイミングで襲いかかる左の気功砲だったが、これを身をひるがえしてかわすミレイユ。

再びありったけの魔力を籠めてマジックミサイルを放つ（ダメージ9倍拡大）。

しかしこれも赤いオーラに阻まれて大したダメージにならない。

4ターン目：相変わらず主導権を握り続けるガンフリー。（先之々・軍雄舵（鶴））

赤く螺旋を描く気弾がミレイユに襲いかかる。（鬼・気功砲）

抜き放った懲罰の刃で再びローリングスタブを狙うミレイユだったが、ついに捕えられてしまう。

強烈なダメージ（クリティカル）を受けコロシラムの壁面に叩きつけられ吐血・気絶するミレイユ。

戦いはガンフリーの勝利に終わった。気絶したミレイユに称賛の言葉をかけるガンフリー。

観客の拍手はしばらく鳴りやまなかった。

試合後治療を受けたミレイユは仲間の労いの声を貰った。

準決勝（大会班）

- ・第一試合は赤い聖女となったルエルとレベル9の勇者アベル。（アリシア的な魔法が使える）

試合を前に神（リアナ）にもう一杯赤い酒を飲んだ方が良いかとお伺いを立てるルエル。

神『面白いから飲んだら？』

赤い酒を飲んだルエルにさらにかかるバフ。【魔力が必要な場合+1して求める。精神+6】

まさに魔法を使うためにあるバフを得たルエル。心配された深度は5のままだった。

一方のアベルはボスランク持ちで、一切の状態異常を受けない。

アベル『僕は勝ち、ガンフリーと闘わなければならない！』

ルエル『理由聞いてもよろしいですか？』

アベル『僕は、ガンフリーに勝ち、この赤の汚染を食い止めなければならない！』

ルエル『うふ、赤は良いものですよ…。なんか、まるでガンフリーさんが元凶みたいな言い方ですけど』

アベル『元凶は違うだろう。あの赤づくめの集団のはずだ。まずは、この町のチャンピオンを、コロシウムを浄化するのだ！』

ルエル『なら、ガンフリーさんに勝つ意味はありますか？』

アベル『僕が新たなチャンピオンとして、このコロシウムを是正する！』

ルエル『赤を邪魔するなら、死あるのみ。…ですよ？』

アベル『君もそうなのか。ならば最早容赦はいるまい！』

1ターン目：バイキルト（武器ベース上昇）、スカラ（浮遊盾を得る）で瞬時にバフを重ねていく勇者アベル。

アベルの長い両手剣に天から落ちる雷。

アベルはギガブレイクを放つが、余裕のルエルは、キリエ・エレイソンで難なくあしらう。

ルエルを赤の手先と罵るアベルだが、ルエルは別に赤でなくても使えたと冷静なツッコミを返す。

そして、ルエルが見せたのは真の赤による爆発。（トゥルー・オブ・ザ・レッド）

恐るべき赤い魔力はコロシウム中の人間に真の赤を目撃させ、一撃でアベルを粉砕する。（気絶）

あまりの威力（クリティカル）に感心した様子のアキと、ゴマ団子を食べながら見ているリアナ。

第一試合は赤の聖女ルエルの圧勝となった。赤の強さに浸るルエル。

- ・第二試合はガンフリー対メルヴァ。

赤いドリンクも飲まずに試合に臨むガンフリーとメルヴァは試合開始前に二人で何かを相談している。

そして始まったのは、ガンフリーが一方向的にメルヴァを攻撃する展開。

苦戦の表情（おそらく演技）を浮かべたメルヴァは倒れた。

どう見ても談合であった。

- ・こうして決勝戦はルエルとガンフリーの赤陣営対決となった。

決勝戦（大会班）

- ・試合前にレッドペインターで全身を塗装するルエル。鏡の前でぐるぐる回ってとても幸せそう。
- ・謎のエロ神官（原文ママ）とコロシラムの英雄ガンフリーの対決を前に盛り上がる観客たち。
- ・リアナがいつの間にか消えている。

ガンフリー『さあ、決勝だ。君も赤くて素晴らしいが優勝だけは手渡せない！』

ルエル『いやん、赤最強の座は渡さないですよ？』

- ・ガンフリーを見つめるルエルには特に分かることもなかった。（観察）
- ・お約束のドリンクを飲むガンフリー。対決が始まる。

1ターン目：構えをとるガンフリー。（軍雄舵（虎か？））

ルエルの光の壁を誘いながら頭を狙った浴びせ蹴りを繰り出すガンフリー。（竜落脚）

対するルエルは今日三度目の光の壁を展開する。（キリエ・エレイソン）

これで壁を使い切ったルエル。壁に阻まれてガンフリーの蹴りは届かない。

ルエルはアベルを葬り去った赤い爆発を起こす。（トゥルーオブザレッド）

抵抗はするもののダメージを受けたガンフリー。

これで、彼はエリユテア信徒ではないことが確定する。（はず）

ガンフリーはやはり驚異的な魔法抵抗で対抗するが、ダメージは大きい。

最大出力で放ったが抵抗されたとぼやくルエルを、

赤くて派手な技でコロシラムに相応しいと称賛するガンフリー。

2ターン目：構えを取り（軍雄舵（虎））、ミレイユ戦と同様に爪に赤い魔力をエンチャントするガンフリー。

ルエルに対して致命的な三連撃のコンボを繰り出す。（昇・気功砲）

神域神聖祈祷で時間を巻き戻して初撃を避けるルエルに何が起こったのか分からないガンフリー。

JOJO立ちをして吼えるルエル『URYYYYYY！！』

再度、ルエルは赤い爆発を起こす。コロシラムの観客は一日に三度の真の赤を見せられることに。

抵抗はされたものかなりのダメージを与えたルエルだったが、既に使えるカードは使い切っていた。

3ターン目：ついにガンフリーは両手を龍の牙のようにして最終奥義を繰り出す。（真・気功砲（混沌属性））

迫りくる赤いオーラにルエルは目を閉じて祈るような仕草をする。（回避放棄）

赤いオーラに吹き飛ばされたルエルは気絶した。（HP：-18）

優勝者は本命中の本命、ガンフリーとなった。

笑顔で観客の賛美に答えるガンフリー。

闘い終わって（大会班）

- ・賞品の授与が行われる。ベスト8のフラウとミレイユは赤大金貨3枚ずつ。ルエルには紅白金貨が贈られた。
気が付くと姿が消えているメルヴァとアベルとサイガ。
- ・控室では試合後の打ち上げか、選手たちやキャッチーが酒盛りをしている。

騎士団庁舎にて（捜索班）

- ・セフィとヘラは朝のアイコンへのお祈りを済ませる。
- ・赤大金貨を持たずに出かけたミレイユに窓から届けるヘラ。
- ・騎士団庁舎に行くと槍戦士は夜の警備もあって眠そう。
- ・中に入るとソフィーとスイセンがいっしょにいた。
- ・不覚を取って情けないというスイセンにさらわれた時の情報を訊くと、**突然数人の男女に取り囲まれて殴られて気を失ったらしい。**ソフィーにブルズの似顔絵を描いてもらうが下手だった。
- ・匂いをたどるために**ブルズの愛用品をさがす**クロウ。**ブルズが身分がばれると思って外していったマントを見つける。**他に**赤い実が見つかる。**マントの匂いは**やや弱い**が、他に部屋に愛用品は見つからない。
- ・**ジャニュエル神殿には立ち入り可能になっているという。**
- ・**アベルはコロシウムに何があるか確かめに行ったらしい。**
- ・**ブルズはいつも研究に熱心であり寝ておらず目の下に隈ができています。**悪は**絶対許さない性格**のようだ。
- ・ソフィーとスイセンの匂いも記憶するクロウ。

ヴァラエル/ジャニュエル神殿にて（捜索班）

- ・ヴァラエル神殿では神官が頭を抱えている。
- ・**引きこもっていた神殿長が慌ててどこかに出かけたらしい。**
- ・お祈りの後で手がかりを求めて神殿長の部屋に行くが鍵が締まっていた。

- ・諦めてジャニュエル神殿に移動する。
- ・騎士団で聞いた通り、もう中に入れる。**高位神官を殺した犯人がジャニュエル神殿の神官ではなかったことが分かり問題が解決したとのこと。**情報のソースは騎士団。
- ・ジャニュエル神殿の神殿長に会いたいというワードをとるように言われるヘラ。指名手配情報は回ってきていないようだった。
- ・特に闇の勢力に異種族が多く、神殿でも警戒しているようだ。
- ・ジャニュエル神殿の神殿長はとても堅そうな30代の男。ヴァラエル神殿の神殿長とは幼馴染で、二人で神殿長になる夢を語っていた。コロシウムにも二人で参加したらしい。
- ・ヴァラエル神殿の神殿長は昔から何度も壁に当たっていたから今回も乗り越えるだろうと信頼している。
- ・ヴァラエル神殿の神殿長がいなくなったのは、借りを返しに行ったからだと推測する神殿長。
- ・**高位神官殺しの犯人探しの人手は足りていない。人に化けるのが得意な赤い淫魔が重要参考人らしい。**情報のソースは**シチョウ**。
- ・神殿長はブルズとは三日前に会って以来顔を見ていないという。
- ・**ヴァラエル神殿の副神殿長は若くて有能で激情型**らしい。会議に出ているという話に怪訝そうな顔の神殿長。**この街の異変に気付いたのかもしれない**と語る。

役場にて（捜索班）

- ・役場に行けば依頼が増えていた。人を騙す赤い悪魔退治で依頼人はシチョウだという。
- ・市長に会いたいと言うと5分で会うことができた。
- ・シチョウによると、荒らされた田畑地帯をシチョウと職員で見に行ったとき、**男の神官が突然女の悪魔ような姿に変身したという。赤い髪で10代後半の外見**だった。
- ・淫魔だと分かった理由はその姿を見たものが…と言いよどむシチョウ。忤度を求められたがおおむね理解したヘラ。
- ・淫魔がどこに逃げたのかはよく分からないという。捜索班はまずは田畑地帯に向かうことにする。

田畑地帯にて（捜索班）

- ・**田畑地帯の一部が焼跡になっている**。農作業をしている人はおらず警備の人だけがいる。
- 。前日の夕方、農作業中に突然火が出たので役場に通報した。シチョウが農産物盗難の犯人を捜している時に尻尾の生えた神官がいたという。化物には逃げられたらしい。
- ・**焼け跡を検証すると、中心点から放射状に燃えているようだった。綺麗に燃えているので魔法の疑いが強い。**
 - ・淫魔は純粋にデーモン系だと思われる。アークデーモンなのかサッカバスなのかは分からない。
 - ・警備は10人ほどだが悪意を持っている者はいないようだった。

血塗れの建物にて（捜索班）

- ・コロシウムに寄って大会の出場者を確認する捜索班は知っている名前を確認する。**アベルが偽名で参加していることも大体分かったが、ブルズは出場していないようだった。**
- ・今日は大会だというだけあって**血塗れの建物の周囲も人が少ない。二つのうちの一つでは真昼間から情事。**
- ・**艶やかではない声の方は何か食べている様子。艶やかな声の方は異種族同士でいろいろしている様子。**
- ・魔法で姿を消して食べている方の音源に接近すると**赤い実をがつつ食べている**ところだった。顔がやつれて不健康そう。目の下にも隈がある。
- ・奥の部屋では5人くらいが食べているようだ。**赤い実をばら撒こうと悪そうな声が聞こえる。**
- ・外では特に接近する姿はなく、**ブルズの匂いも全くない。**
- ・情事をしている方からはキメセクサイコーという声が聞こえる。
- ・いったん体勢を立て直してから**食べている音が聞こえる方の建物に再侵入**。セフィのピュプノクラウドであっさり全員眠らせて手早く縛っていく。
- ・中に入ると奥の部屋へのドアと大きな箱があった。
- ・**奥の部屋では30代の男と20代の女が喋っていた。どちらも人間ではない。角が生えていた。**
- ・**角女はハーフシャドウのようだが赤くはない。**
- ・角男も角女も赤い髪の淫魔は知らなかったが**ブルズに似た男なら知っている**と**情報料を請求**してきた。
- ・1000フラクを支払うと、**ブルズに似た男は赤い実をばら撒く組織にいる**らしい。
- ・**その組織は毎日赤い実を持って西の方からくる（しかも無料）**ようで、当日はまだ来ていなかった。来るのは夕方らしい。
- ・**ブルズに似た男が来るようになったのは2~3日前からで、その前は赤いメイドが持ってきた**という。
- ・**メイドは『あなたに伝える名前はありません』と澄ましていた**という角男の証言からおそらく**シオン**だろう。
- ・**眠らせて縛った5人は深度が上がっている様子**だった。
- ・角男に赤い実で商売はやめた方が良くといったヘラは何故なのかと問われて中毒があって騎士団に目を付けられるからと答えた。
- ・角男は騎士団が来ても何も変わらないと余裕。
- ・セフィは新たな闇の勢力が介入しつつありそれが赤い実だと角男に言い、情報の対価を要求すると**西に小さな神殿が作られているという情報を手に入れた**。情報のお礼に赤い実は一つの信仰へと意識を寄せるとセフィは角女に警告を残す。

赤い神殿にて（搜索班）

- ・西の方へ20分ほど歩いていくと、赤いメイドを20人ほど見かける。
- ・まだ神殿は完成ではないようで、年上のメイド（シオンではない）が若いメイドたちを指揮している。
- ・裏には赤い実加工する前の実（赤くない）が置いてあり、畑のようなところで栽培しているようだ。
- ・見た感じ、ブルズは見当たらない。赤いメイドに声をかけ、ブルズのことを尋ねると神殿の中で手伝いをしているという。
- ・ブルズらしき男は一昨日アキが連れてきたようで、いつから信者なのかは赤いメイドたちは知らないようだ。
- ・神殿の中に入ると赤いフードの目つきの悪い男が赤いメイドたちに指示を出している。
- ・ヘラがブルズに話しかけると、忙しいから帰れと言われる。宮廷魔術師として神殿を完成させて赤の素晴らしさを王に伝えると言っている。赤い実は食べたし、アベルやソフィーにも赤の素晴らしさを教えると言う。
- ・ゆっくり話したいというと、夕方にしてくれと言われる。
- ・話の場所は夕方の方の井戸を指定された。奴隷市場から奴隷がいなくなった話も伝わっている。
- ・田園地帯に現れた赤い淫魔の話を訊くとアキの使い魔でアキの傍にいたろうと言われる。
- ・アキはコロシウムにいるらしい。クロウがブルズの匂いを覚えてから神殿を出た。
- ・取り敢えず赤い実を調べるために宿に戻った。

宿で調べもの（搜索班）

- ・赤い実を調べる搜索班。
- ・中毒症状はないようだ。たくさん食べている者がいるのは、たくさん食べることによる危険性に気づいていないで、もっと強くなれると思って食べているだけのようだ。
- ・1個だけなら大丈夫と赤い実を食べるヘラだが、実は熟してもおらず美味しくない。
- ・ヘラは素手のベースが15になって筋力が+6された。深度1付与。赤が嫌いではなくなった。
- ・ヘラはメディカルキュアで深度を下げようとしたが失敗。セフィがウォーターセラピーをしたら綺麗に治った。（クリティカル）
- ・深度は下がってもバフは消えなかった。

ちょっとコロシウム（搜索班）

- ・コロシウムに寄って様子を見に行く搜索班。三回戦の顔ぶれを見る。フラウが強いと評判。
- ・コロシアムのVIP席にはアキがいて一般席にはリアナがいた。
- ・リアナに、リアナ像からリアナの声がしたという、録音された声を使われたらしい。キモいと素直な感想。
- ・試合はあまり面白くないらしい。西の神殿についてもあまり興味はなさそう。アキの使い魔は見えないとのこと。
- ・像を破壊してもまた作られるから意味がないらしい。アキの使い魔が行きそうなところは分からないが、人が好きらしい。それを聞いてひらめくヘラ。
- ・ちょっとお祈りをして、情事の音が聞こえた方の血塗れの建物へと向かう。

血塗れの建物再び（捜索班）

- ・中の様子を伺うと事後のようだ。男はまいった。という感じ。
- ・女は黒髪で尻尾があった。セフィが六芒眼を通してみると、やはり姿を偽っていた。本体は赤いマスコットのような外見。
- ・女に話しかけると覗き見を言い咎められる。あっさりと変身していると認めた。神官殺しの動機は引っ掻き回すのが楽しいから。アキの命令ではなくて楽しいからやったようだ。
- ・女を識別してみると、別の世界からやってきた魔法生物のようだった。
- ・ヘラが捕まえようとするにあっさり捕まった。よく見ると目が赤い。裸だったので服を着せた。
- ・そのまま役場へと連行する。

役場にて（捜索班）

- ・役場の女受付はアンニュイな雰囲気。自分も行きたかったが、みんなコロシウムに行ったらしい。
- ・赤い淫魔は牢屋にぶち込んでくれと言われるのでぶち込んだら報酬を貰えた。
- ・悪事をするなどと言っても、反省の色はない。
- ・次に報告をしにジャニュエル神殿に向かう。

神殿再び（捜索班）

- ・ジャニュエル神殿の神殿長に赤い淫魔捕縛の報告をする。
- ・神殿長の称賛を受ける捜索班だが、ブルズの方はもう少し時間がかかると答えておいた。
- ・ヴァラエル神殿の方は相変わらずだという。ヴァラエル神殿の神殿長の名前はクガだが大会の参加者に名前は無かった。
- ・クガがコロシウムにいないとすればどこだろうと、ジャニュエル神殿の神殿長にも分からない。西区であるのは間違いないと神殿長は思っている。
- ・ヴァラエル神殿に移動すると、神殿長は戻っていないという。神殿長の部屋は許可がないと見せられないという。
- ・神殿長を探しにリアナ像の方へと向かう捜索班。

リアナ像へ（捜索班）

- ・カガミは暇そうにしていた。
- ・**ヴァラエル神殿から人は来たが、騒ぎ立てるので気絶させてコロシラムの裏側に放っておいたらしい。**
- ・コロシラムの裏に行ってみると、**ヴァラエル神殿の神殿長クガが倒れていた。回復して目覚めさせると男泣き。**
- ・**力を取り戻さなければと、カガミを倒して街に正義を取り戻さねばと息巻くクガ。**
- ・やはり**クガはリアナ像に入ってパスワードレインをされたとクガの口から明らかになった。**
- ・クガは今朝、**シチョウから像に入って力を失ったという話を聞き、**リアナ像に来たようだ。
- ・カガミへの勝算はないと語るクガ。カガミは力を取り戻すのは手遅れだというばかりらしい。
- ・クガは自分は無力だから、カガミの（打倒する）ことを頼むと託された。
- ・カガミに聞くと**力を溜め込んだ赤い宝玉はアキが持ち去ったらしい。**
- ・カガミがリアナ像のところにいるのは像を爆破されたくないから。
- ・**西で建設中の神殿はただの支部神殿**だからカガミが行く必要は感じないようだ。
- ・ドレインした力を戻すためにはアキに土下座すればいいのではないかとテキトーなことを言うカガミ。
- ・**エリュティア神殿の頭脳はアキでそれ以外は彼女の手足にすぎない**とまで言うカガミ。彼は**赤い実は不味いから食べない**という。
- ・**カガミの口からシチョウと既にコロシラムで（ガンフリーといっしょに）会っていた**という事実を知らされる。シチョウはビジネスパートナーだが、どちらから誘ったかははぐらかされた。
- ・アキの使い魔Qについてはカガミも知らないらしい。
- ・同時にセフィにとくとくとお説教をされるクガ。敗北の汚名を返上するためには力を取り戻すくらいしか思いつかなかったと告白するクガにセフィとギーゼルベルトから神殿に戻るように言う。クガはすすろと戻っていった。
- ・そして、東区へと戻っていくセフィとギーゼルベルトは**コロシラムの大会の決勝戦がガンフリー対ルエル**で行われるという看板を見つける。アベルはルエルが倒したらしい。
- ・捜索班はクガを東区まで護衛してから役場へと向かう。

役場にて、何回目？（捜索班）

- ・女受付は相変わらず暇そうにしている。
- ・**シチョウの部屋は役場の西の方。覗きこんだが誰もいない。**
- ・牢獄ではQが黒髪女の姿をしている。シチョウのことは知らないらしい。

街中駆けずり回る（搜索班）

- ・騎士団で槍戦士に聞くと、**シチョウは来なかった**し、**ソフィーとスイセンは外に出ていない**ようだ。
- ・役場の牢獄に行ったらQはお腹が空いたらしい。餌付けをするセフィたち。アキが何をしようとしているかを聞けば、赤い実を使って赤を広めたいだけだろうと答えた。
- ・ヴァラエル神殿に行ったらシチョウはまだ戻らないらしい。
- ・田畑地帯に行って警備に聞いたがやはりシチョウはいない。
- ・役場に戻ってシチョウの部屋に忍び込み書類を漁るへうだが、怪しいものが出てこない。

- ・そんなことをしているうちにコロシウムの方から大歓声が聞こえる。
- ・コロシウムに行くと優勝したのがガンフリーだということをはじめとして大会の結果が大体分かった。
- ・**コロシアムの受付に聞くとシチョウの姿は見えていない**し、行き先に心当たりもないという。

- ・セフィがリアナ像の方に行くと暇そうなカガミがいた。四天王の行き先はよく分からないが、**夜は女子会**だろうという。
- ・シチョウについて尋ねると、ゴアブルガの長でありビジネスパートナーという以外は大して知らない。
- ・**シチョウの行き先はコロシウムか役場**だろうというカガミ。
- ・結局、そのままコロシウムに向かうことになった。

大会後、酒盛り

- ・選手たちが試合後に赤い酒と普通の酒を飲んでいる。キャッチーも一緒にいる。
 - ・悔しそうにガンフリーに話しかけるミレイユ。
 - ・ガンフリーはミレイユ戦が一番危なかったと言い（残りHPは1だった）、ルエルも強すぎてもう戦いたくないという。
 - ・キャッチーによると選手の紹介文に付け足しをしたのはVIP客だったらしい。アキの容疑が固まった。
 - ・なぜ張力を使わなかったのかと問われて、攻撃に全気力（TP）を回したからと説明するガンフリー。防御技はチャンピオンには似合わないとも言う。
 - ・赤いドリンクをがぶ飲みしても大丈夫なのかとルエルに訊かれるが、これを飲むと調子が良いと答えるガンフリー。ガンフリーがドリンクについて聞かれると毎回この答えになる。なお、赤いドリンクを教えてくれた人は内緒だと言う。
 - ・赤い酒は随分出回っているようだがと突っ込むミレイユだが、隠せないものだとかわすガンフリー。
 - ・疑惑のメルヴァ戦について聞かれると、もっと強いはずだが急所に当たったと言い訳。
 - ・ガンフリーがリハビリを受けていたのはコロシアムのVIP用エリアのトレーニング室のようだ。
 - ・三か月前のガンフリーが負傷した試合について聞かれたキャッチー。後遺症が残りそうだったがよく復活したとの弁。
 - ・メルヴァに気功砲を反射されて負けたいらしい。
 - ・そこに捜索班が入ってくる。
 - ・ヘラをガンフリーとキャッチーに紹介するミレイユ。
 - ・フラウはいなくなっているアベルが気になるがどこにも見当たらない。
 - ・試合が終わった時点で控室の奥へは入れなくなっている。
 - ・ヘラとミレイユとガルムの話をするガンフリー。強い者とは闘いたくない。失うことに臆病になっているという。負けたら赤いドリンクが飲めなくなる、というわけではないようだ。
 - ・ヘラはガンフリーの赤いドリンクを買えないか訊くがガンフリーは渡せないと言う。普通の赤い酒とはまた違うらしい。
- ガンフリーの赤いドリンクは、ルエルが飲んだ赤い酒よりもさらに効果が高いと予想される。しかし、レッドペインターを使ったルエルにも攻撃できたし、トゥルーオブザレッドでダメージを受けていた。ならばガンフリーは深度4以下でエリュテイア信徒でもないということになる。

観客席と騒乱と

- ・話があると酒盛りからミレイユを連れ出すヘラ。互いに短く情報共有を図るが時間がないため伝えきれない。
- ・その時、フィミアはコロシアムの言ったことのない場所で戦いが起きたことを感知する。
- ・フィミアは戦いが起きていると大声で観客席にいる者に知らせると単身空を飛んでVIP席からVIPルームに侵入する。
- ・フィミアがどこに行ったのかもわからず一体どこで戦いが起きたのか誰も分からない。
- ・そこにフィミアはVIPルームの中からここにいるぞと大声で叫んだ
- ・魔法を使わないと跳べないメンバーをVIPルームに送り込むために、周囲の観客の目を演奏で釘付けにするヘラ。
- ・そして、魔法で取り敢えずの空中移動を可能にしたメンバーがVIPルームへと向かった。

コロシウムで分散行動

一行はフィミアを追う突入班と、コロシウムの観客席にとどまった残留班に分かれた。

【残留班】

ヴィック、フラウ、ヘラ、ルエル

【突入班】

ギーゼルベルト、クロウ、セフィ、ソニア、ディル、フィミア、ミヤ、ミレイユ

VIPルームの前哨戦（フィミア）

・VIPルームに扉を蹴破って飛び込んだフィミア。中には赤い紐で縛られたアベルと、アキとメルヴァとシチヨウの姿。アベルはシチヨウをどこまで腐っているのかと睨みつける。

・外に向かって自分はここにいると叫ぶフィミア。

・そのままフィミアとメルヴァとの戦闘が始まる。

1ターン目：切り札の現界Cを発動するフィミア。

暗黒騎士宣言をしてくるメルヴァ。魔王剣二連撃。

ファンブルをクリティカルに変換した一撃目の大ダメージをアミュレットで打ち消すフィミア。

二撃目はなんとかかわすことができた。

フィミア『…強いな。名と地位をもう一度聞こう』

メルヴァ『あんたもね。エリュティア四天王が赫醒（かくせい）騎士、メルヴァさ』

フィミア『その男を離すならば矛を収めよう。そうでなければ…まずはあの情けないものから殺す。戦場には不要だ』（あまりにも場違いな奴を指差し問いかけ）

メルヴァ『へえ？ 情けないものっていうのは国を背負ってやってきて無様に負けた勇者様かね？ それとも』

アキ『うまい話に乗っちゃって、傀儡にされているこの男かしらあ？』（ちら、っとシチヨウを見る）

フィミア『ワタシは戦う勇ましき者を尊ぶ。なら答えは一つだ。時間はない。1人死ぬか2人死ぬかだ。どうする？我としては依代にしたがい誰も死なぬ選択肢を望むがな』

メルヴァ『ふうん…そこの勇者様を解放すれば、収めてくれるならそうしようかい』

アキ『そうねえ、メルヴァが死んだら悲しいし… じゃあ、これでいい？』（魔法の刃でアベルを解放する）

フィミア『この場はな。但しそのゴミムシは捨てていけ。聞くことがあるからな』

アベル『すまない… しかし、君は一体…』

シチヨウ『あわわわわわわ、ちょっと、なんとかしたまえ！』

フィミア『神の座に近く貴きものだ。異教の勇者よ』（槍をシチヨウの足元に投げつけ動きを封じ）

アキ『あははははは、この人もこれまでかしらあ？』（と、アキによってシチヨウはフィミアの方に蹴飛ばされた）『あげるわあ♪』

メルヴァ『騒がしいな、戦乙女の仲間がやってきたか』

フィミア『ふん。再び踏み入れれば即座に串刺しにしてくれる』

シチヨウ『ひい』

フィミア『…正義の殺してのはあ。分かってても難しいもんだねえ勇者さん』

アベル『…腐らせたのが悪いのか、腐ったのが悪いのか、俺にはもう良く解らんよ』

フィミア『どうしたってあんたみたいに誠実には生きられないんだよ。まあ一せつかく助かったんだ。これからの話をしようや』

VIPルームの決戦前会話（突入班）

・VIPルームに先行して飛び込んだフィミアを追ってきたギーゼルベルト、クロウ、セフィ、ソニア、ディル、ミヤ、ミレイユ。

・中にいたのはフィミア、シチヨウ、メルヴァ、アキ、アベル。

・フィミアは切り札の現界Cを使用。ゲルヒルデの力を降ろしていた。腰を抜かしているシチヨウ。先ほどまで捕えられていた様子のアベル。アキは笑っていて、メルヴァは巨大な赤い魔王剣を手にしている。

・フィミアが現界を解除して元の姿に戻る。話を促す突入班。

アベル『俺は闘技場で負けた後、ここに連れてこられた…そして、この街の裏を知った。シチヨウとガンフリーはこの赤い奴らと手を組み、コロシウムとこの街を私物化している…！』

セフィ『——それで、市長さんはこのまま赤い方々と手を組んで、私物化を続けるつもりでしょうか』

アキ『まあ、人間味が悪いわね。ちょっと美味しい話を持ちかけただけよ？』

シチヨウ『私は悪くない！私は騙されただけなんだ！』

どうということかと異口同音に訊く突入班。

アキ『強い人のレベルを吸い、ガンフリーに力を注ぎ、コロシアムの覇権を持続させる。それは同時に赤い実を支配することで街のパワーバランスを支配し、赤い金貨をばら撒き高騰させ、フラクを集める』

メルヴァ『元は価値が0の赤金貨の価値が凄いなってなるからね、幾ら儲けたやら』

セフィ『——ああ、カガミさんも言ってましたね。パワーバランスをエリュテシアが支配することでどうとか、こうとか。……全く、芸術都市での一件といい……。お金はよくよく、人を惑わします……。エリュテシア組は赤を広め、市長は利益を啜る。——といった流れだと思います』

シチヨウ『このままお前らが来なければ、数千万は儲かっていたんだ！』

ミレイユ『君たち（エリュテシア）が金に困っているようには見えなかったが？』

メルヴァ『私達はお金に興味はないさ、ただの実験』

セフィ『——ところで、メルヴァさん。もう一方、吸い取ったレベルを返してもらいたい方が入るのですが』

メルヴァ『へえ？ただで返すと思うかい』

セフィ『ただより高いものはなく、利を得るには代償が必要であることはわかまえています。それで、その際貴方は何を望むのですか？』

アキ『貴方達はこの勇者とシチヨウの身柄と、レベルの返還を望むのねえ』

セフィ『——正確には、私は若干違います。そちらの方と市長さんの身柄、それに神殿長のレベルの変換。その上で、崩れたパワーバランスの回復です。……私達って、見ての通り存外強欲なんですよ？』

アキ『あらあら、わがままねえ。ま、リアナ様に見せるものも見せたい…』

メルヴァ『ちょっと遊んで気が済んだら、全部返してやるよ♪』

ミレイユ『今回はどうして、エリュテシア神殿を作らなかったんだ？コロシウム北西の像だけでは、赤を広めるとは言えない。今回の実験の目的はどこにあったのだ？』

アキ『ふふ、西にちっちゃいのを作ってたのよ？ブルズに任せて私達は帰るつもりだったんだけど』

・捜索組からもミレイユに対して実は建設中の神殿があったとツッコミが入る。

・楽しそうに微笑んでいる四天王の二人メルヴァとアキ。

ミレイユ『では、どうしてガンフリーはエリュテシアに染めなかったのだ？あの赤いドリンクを与えるだけにしておいた理由がわからないな』

アキ『あらあ、知りたいのなら…』メルヴァ『かかってきなよ？』

ガンフリーが赤に染まっていなかったことに驚く捜索班。

ミレイユ『ああ、レッドペインターで全身を染めたルエルに攻撃をしていたし、赤い爆発（トゥルーオブザレッド）に抵

抗はしたがダメージを受けていた。それはつまり深度が浅いこととエリュティア信徒ではないことを示している』

セフィ『……ルエルさん改宗したんですか！？』

ミヤ『ああ…、ええ。改宗。…そうね』

ギーゼルベルト『今は個人だ（眼鏡のブリッジをおしながら）市長は剣王国に引き渡す。裁きを受けさせねばな。おい。この市の長の器にあわぬもの。死にたくなければこちらへ来い、護ってやる（いつもの調子に戻りつつ）』

そこにアベルの向こう側からガンフリーが現れ、シチョウは下がってしまった。

ガンフリー『……この様子だと、君達は全てを知ってしまったようだね？』

セフィ『——さて、何を以て全てというのか。全知全能には程遠い私達にはわかりかねますが？貴方の口から、私達が何を知ってしまったと思ったのか。告解なさるのでしたら、どうぞ』

アキ『全てを伝えちゃったわあ♪』

ガンフリー『そうか、残念だ。すまない！ この秘密を知られたからにはお前たちを生かしておく訳にはいかん！私には、チャンピオンでいなければならない必要がある！』

アベル『この魔女は僕が抑えておく、今のうちにチャンピオンを！』

・そして戦闘が開始される。（勝利条件：ガンフリーを倒す）

VIPルームの決戦1ターン目（突入班）

暗黒騎士宣言などの精神攻撃に対抗するためにアレイドをかけるミヤ。

メルヴァは暗黒騎士宣言とフィアフィールドとテラーフィールドをかけてくる。構えるガンフリー（軍雄龍（虎））

ミレイユはミスリルアローを連射するが全く当たらない。

瞬時に距離を詰めて移動（16mを集中移動。抜き足相当？）を行ってガンフリーの突きはディルの堅い装甲を破れない。

ガンフリーはディルとはコロシウムで戦いたかったようだ。

セフィはダブルキャストで味方へとバフをかける（エンゼランス・フィジカルパーフェクト）

三段突きと小太刀のコンビネーションを放つクラウドだがガンフリーには手傷を与えたのみ。

ミヤのスプラッシュファントを全てかわしたが、片手のクラウソラスで浅く傷つくガンフリー。

サブアームまで繰り出して巨大なハンマーと剣と銀の斧で殴りつけるディル。

しかし瞬時に手レポートしてきたメルヴァにガードされる。デモンズメイルの展開に失敗してホーリーガープで我慢するメルヴァ。鎧が混沌属性を半減しているようで思ったほどダメージが入らない。

カバーするメルヴァに思わずうろたえるディルは、じゃああんたもカバー禁止と言い渡される。（拘束力無し）思わずうろたえたディル以外の突入班。

ドウバッハを大量に複製してから考え込んでいたフィミアはメルヴァをけん制しつつドウバッハを打ち込むが、かわされた。（三間間合い）

どう動けばいいか悩むギーゼルベルトだったが雷を纏った魔法剣で（ブラスト・雷）ガンフリーに斬りかかるが間一髪で躲かれた。

メルヴァは魔王剣二連撃をフィミアに浴びせるが、片方をミヤがガードする。咄嗟にセフィが氷の壁を作ってフォローを入れる。

ソニアがミヤを剣に灯った炎を使って回復。

VIPルームの決戦2ターン目（突入班）

メルヴァが力強く赤騎士宣言で真の赤を見たものにバフを与える。ガンフリーも構える。（軍雄舵（虎））
ギーゼルベルトがフェイントを利かせた策を発動（老獪策。本来は戦闘開始時のみだが、今回は許可が出た）
ミレイユがミスリルアローを連射するが、一つは躲かれて一つは弾かれる。
ギーゼルベルトは魔法剣に天使の力を宿す。（エンチャント・アンゼラ）
クロウは側面に回り込み小太刀の一撃を閃かせてから居合斬り（空・返し）を放つが手傷を負わせるのみ。
フィミアは複製したドウバツハの一斉投擲（風魔忍術・拍手喝采）をするが全く当たらない。（ファンブル）
セフィもライトニングスネークを放とうとするが不発に終わる。（ファンブル）
さらに雷を纏った魔法剣で打ちかかり、ガンフリーにダメージを与える。
ミヤもスプラッシュファアントと通常攻撃を浴びせて少しずつガンフリーに手傷を与える。
ディルは剣と懲罰の刃二本で斬りつけるが、メルヴァにガードされて手傷を与えるのみ。

セフィ『——まだ、続けるおつもりですか？』

メルヴァ『このチャンピオンが頑張るまでは頑張るさ』

セフィ『……意外ですね。エリユテイアの方が男性に執着するのは』

メルヴァ『見てて、面白いしね』

ガンフリー『笑うなら笑え、私はまだやらなければいけないことがある！』

ミヤ『それは何なのですか』

セフィ『——いいえ。此処までほぼ一人で立っている、そのことは称賛すれども笑うことは致しません。が、それゆえ貴方を突き動かす信念に、強く関心を惹かれます』

ガンフリー『賞金を、賞金を地元に送る事だ』

セフィ『……なるほど。そのために貴方は自分の得られないものへ手を伸ばしたのですか』

ガンフリー『俺の故郷は貧乏でな、私が優勝して賞金を送らなければろくに飯も食えない…』

セフィ『……市長さん、貴方はガンフリーさんたちのおかげで莫大な富を、既に得ていますね？』

シチョウ『も、もちろんだ』

セフィ『——で、あれば……。その富を、コロシアムの盛り立て役であった彼に、多少なりとも還元するのも、治世者として大切なことではないでしょうか。私達の連携に、メルヴァさんの助けがあれば此処まで善戦した方です。そうそうは負けぬでしょう。——ゆえに、これは投資ともなります。うまくすれば貴方はガンフリーさんと、その故郷へ恩を売ることが出来、そのつなぎを使い領土の拡大を考えることも可能ではないでしょうか？』

ミレイユ『……もう彼にチャンピオンとしての余裕はない』

メルヴァ『面白いだろう？ 必死でさ』

ミレイユ『彼は、強者にはコロシアムに参加してほしくないと言っている。だから、既に誇りの問題ではない。生活の問題だ。より切実だと言えるがな』

ガンフリー『わかっていても、もう、走り出したら止まれないんだ！』

ガンフリーが赤い気を練ってミヤとミレイユを狙って撃ち出す（真・気功砲）が、ミヤのブロッキングパリアに阻まれる。

一方のメルヴァはメテオザッパー（聖騎士版）を振り下ろす。

ミレイユが味方へのダメージを否定しようとする（パーミッション）が、メルヴァの術（赤の呪い）によって失敗させられる。（強制的にファンブルになる）

守護されているソニア、回避に成功するディルとフィミアとミレイユ、アイギスの盾を張ったセフィ、ダメージを無効化するミヤ（栄光の凱歌）、しかしギーゼルベルトは深い傷を負った。

直後にソニアはギーゼルベルトを回復して、ミレイユは影からドラゴントゥースウォーリアを呼び出した。

VIPルームの決戦3ターン目（突入班）

疲労困憊の状態で構える（軍雄舵（虎））ガンフリー。

思い思いに構える突入班。

ガンフリーの残りの体力が分からない状態でミレイユがミスリルアローを連射。

そのうちの一本が当たってガンフリーは爪で何かを追い求めるように手を差し伸べたまま倒れた。

メルヴァ『おっと、まだやるかい？』

アキ『そろそろこの男の相手も飽きたしい』（アキに遊ばれたアベルがボロボロになって倒れている）

セフィ『——。これで、メルヴァさんたちの「お遊び」が終わるのでしたら私達はひとまず其処までです』

ミヤ『私には必要以上に戦う理由はありませんが。むしろ戦いたがったのそちらですよ』

メルヴァ『ああ、いい花火だったね。汚い花火だったけど』

ミヤ『結局何がしたかったの…』

アキ『実験よお？』

セフィ『満足されたのでしたら、ドレインされた神殿長のレベルを元に。この町の治安を、平素のものへ戻しますゆえ』

ミヤ『むしろ今の戦いについてです』

メルヴァ『今の戦い？遊び遊び』

ミレイユ『教えてくれないか、この実験の目的を』

アキ『なんだったかしら、前…洗脳魔力を流したとこ。あそこの術式とお、今回の実をあわせて使えばあ… ひとつの国くらい支配できるかどうかの実験？』

アキ『で、レベル戻すんだったかしらあ？ちょっと待ってねえ』（アキが巨大な宝玉を持ってくる。前回（シナリオ『全世界洗脳計画』）と同じものだが、今のままでは売ったり壊したりするとレベルが返却できない）

アキ『シオンちゃんが次のための資金を稼いでくれたし、これはあげるわあ』（赤い宝玉をくれるアキ）

ミレイユ『……次に狙うのはどこかな？』

アキ『それはあ、シェルちゃんとの女子会で決まるのよお』

メルヴァ『さて帰るか帰るか、メイド達にも引越しの手配させないと』（アキとメルヴァは喋りながら帰って行った）

セフィ『さて——市長さん。戦闘中の提案、受け入れてもらえるでしょうか』

シチョウ『これはまるで脅迫ではないか！』

セフィ『あ、ら、脅迫とは。私はただ提案をしたまでですよ？見ての通り、か弱い娘ではありますが、命がけで貴方を守りながら。それに報いるべきかどうか、決めるのは貴方ということです。——最も、私達が行くぶんか貴方のことを知ってしまったことは否めませんが』

シチョウ『…………とほほほほ…』

アベルとガンフリーを回復するメンバー、赤いドリンクを回収するメンバー。外の様子を見に行くメンバーと、思い思いに行動する突入班。

事後処理の算段を整理していくセフィ。感情が漏れているギーゼルベルトを嗜める。

残留班はミヤの遠眼鏡で大体の所在が分かった。西の方から戻ってきていて、リアナ像近くで女子会メンバー+カガミと何やら話しているようだ。

- ・メテオザッパーで破壊されたVIPルームはフィミアが何とか修復する。
- ・ガンフリーは優勝賞金をすでに仕送り手続き完了したようだ。
- ・ガンフリーは赤い栄養剤でどのくらい寿命が削れたか分からないが、それを報いとして受け入れ戦い続けると誓う。
- ・ゴアブルガに来てくれというガンフリーに、試合を見に行くと答えるセフィ。アベルもまたここに来ると言う。
- ・とにもかくにも、ガンフリーとシチョウを護送しようとコロシウムを出たところで残留班と合流する。

観客席にて（残留班）

- ・ヘラの演奏に拍手を贈る観客たち。
- ・青い浴衣の女は困ったような表情でVIP席の方を見ている。名前はフィズでこの街に来た騎士の一人らしいが、放浪の騎士らしい。
- ・きな臭い臭いを嗅ぎつけてコロシウムに来たようだ。役場の裏に地下道があり、シチョウはそれを通して直接VIPルームに出入りしていたらしい。
- ・情報交換をする残留班とフィズ。
- ・四天王はゴアプルガからいなくなり後任は西の神殿お支配者（ブルズ）になるらしい。
- ・ブルズは軟禁して一週間ほど治療をすれば大丈夫だろう。生け捕りにすれば良さそう。
- ・フィズからみたらし団子をもらうフラウ。
- ・ブルズと井戸で会う約束をしているから、幻影で伝言を残して井戸へと移動する残留班。

夕方の井戸で待ち合わせ、説得（残留班）

- ・ブルズは10分前から待っていたようだ。
- ヘラ『……お待たせ…律儀、だね』
- ブルズ『赤の素晴らしさをとくためだからな』
- ヘラ『……赤が綺麗なのは、いいけど…でもやっぱり、神殿建てたり、危ない実をばら撒くのは…やり過ぎ』
- ブルズ『赤い実をばら撒くのは、実力を馴らすためだ。一人の支配者を作らないために大事な事だ』
- ヘラ『……貴方も均されたの？』
- ブルズ『その必要があれば像に入るつもりだ』
- ヘラ『……支配者を作らず、何が統率をするの？』
- ブルズ『市長が平和の下に統率を行う』
- ヘラ『…支配者、作ってる…貴方は、騙されている、だけ…』
- ブルズ『何？俺が誰に騙されているというのだ！』
- ヘラ『……市長か、アキか……貴方の王は、何処にいる。…思い出せないなら…思い出させる』
- ヴィック『市長が支配者になっていますよ。その理屈では……』
- ブルズ『なに？シチョウは投票で選ばれた、立派な市長ではないか！』
- ルエル『赤の素晴らしさのはずなのに、市長の素晴らしさになっていませんか、それは』
- ヘラ『…赤の誘惑に、市長の私欲が、混ざってる……貴方は、宮廷魔術師…でしょう……正義の、ための…。赤い実を必死に奪い合い、食べる姿は…正義なの…？』
- ブルズ『なにを… 市長に私欲があるものか！』
- ルエル『赤の神官として問いますが、貴方がより大切なのは赤ですか、市長ですか』
- ブルズ『そうだ、俺は国からこの地の平定をゆだねられた！この都市だ』
- フラウ『グリム・フォン・フラクナ14世陛下のためでもなく、この都市にくらす人々でもなく、ただ都市のためにりっぱなお仕事についたのですか…ほんとうに？』
- ブルズ『ああ、当分は私がこの神殿の仮の長となり、年を平定へと導いていく！』
- ヘラ『…その結果…神官が一人、死んだ…それでも、平定に近づいていると、言えるの？』
- ブルズ『以前より治安はよくなった！』
- ヘラ『…なってない。そんなものは、正義じゃ…ない』

ブルズ『お前のどこに正義がある！』

ヴィック『残念ながら……人が死んでいる時点で正義とは言えませんね。私は正義など考えません……兵士とは駒。それを考えるのは上官の仕事です』

ブルズ『神官同士のいさかいだろう！』

ヘラ『……私には、正義はない……私は、罪人だから。……だけど……人が死んで、以前より良くなった……いさかい……そんな言葉で、片付ける人には、なってない。……それに、殺したのは……赤の神殿の、使い魔……神官同士の喧嘩では、ない……』

ブルズ『なんだと？その証拠はあるのか？！』

ヘラ『……市長から、聞いた。ジャンユエル神殿にも、伝えてある……』

ブルズ『……その使い魔とやらをつれてこい！』

ヘラ『……わかった。まだ役場にいると、いいけど』

・ そう言うてはみたものの、神の言葉を聞けば既に牢獄にはQはいないとのこと。

フラウ『あのね、おじさん。おこらないできてほしいの……。ううん、きっと怒るとおもうのだけど……その使い魔、捕まえて役場で確保していたのだけど。逃げちゃったみたいで、ね……？』

ブルズ『俺はまだ26だ、おじさんじゃない！』

フラウ『……ご、ごめんなさい……』

ブルズ『そらみたことか、そんなものいるはずがない！』

フラウ『その使い魔はとても危険で、そしてそれが役場からにげてしまったのであれば、役場の人たちが危ないかも、って……思う。そうでしょ、おねえちゃん……フラウはその……えっと……Q？だけ、みてないけど。すごく危ない生き物なんでしょ……？それって、この街の平和があぶないって一つ、なんでしょ……？』

ブルズ『そうだな、平和が危ないな』

ヘラ『……うん。遊び感覚で、人を殺すから……危険』

フラウ『……だからね、おにいさんが街を大事におもう宮廷魔術師さんならここで怒った顔をしてどうこうするよりも、役場についてきてほしい』

ブルズ『わかった、まずは役場に行ってみよう』

もう何度目かの役場（残留班）

- ・ 大会が終わって人が戻ってきている。女受付はアンニューイ。淫魔が逃げたと告げる。
- ・ **Qはお腹が空いたから帰ると置手紙を残していた。**
- ・ シチョウはまだ戻っていない。神殿長はぐったりしているらしい。
- ・ **Qの危険性についてブルズに説明するためにジャンユエル神殿へと向かう**残留班

真実は見えるか（残留班）

- ・ Qについてブルズに説明するためにジャンニエル神殿に来た残留班。
- ・ 神殿長のところに通してもらい、神殿長の口から赤い淫魔が神官い化けて人を殺したという事実を知らされ、ようやくブルズもQの危険性に納得をする。
- ・ しかし、ブルズの洗脳が解けたわけではなく、赤い神殿を壊して赤い実の畑を焼き払う話をするとブルズが怒り出し、神殿長ともみあいになってしまう。
- ・ その間に脱出する残留班だった。

赤き神殿を破壊せよ（残留班）

- ・ 外はもう暗くなってきている。神殿では赤いメイドたちが農作業を終わってひと段落。
- ・ 赤い実の原料は黄色いマンゴーのような形で赤いメイドによると魔力を通しやすいという。
- ・ 赤い実の加工はアキかリアナにしかできないらしい。
- ・ 西の神殿にリアナは来ないらしい。
- ・ 赤い実の倉庫にはエリュテティア信徒しか入れない。残留班を勧誘中だと言うルエル。倉庫に入れてもらえたが赤い実以外は特に何も無い。
- ・ 今後の方針を話し合う残留班。
 - この街の治安を回復するためには赤い実を駆逐する必要がある。
 - 赤い実を駆逐するには供給源を断つしかない。
 - リアナ像は赤い宝玉を設置してはじめてパワードレインを行うことができる。
 - 赤い宝玉が吸い取ったもの【など】でアキは赤い実を作っている。
 - 赤い宝玉で何かをなすためにはリアナ像に行くことが必要。であればリアナ像に行けば必ず何か進展が起きる。
- ・ 相談している横で真の赤を披露してメイドたちにちやほやされる赤の聖女ルエル。
- ・ 残留班はリアナ像へと移動する。

リアナ像に全ては集まる（残留班）

- ・リアナ像に来てみれば、アキ、シオン、メルヴァの女子会メンバーとカガミがいる。
- ・アキたちはリアナ像を別の場所に転移させるつもりらしい。
- ・赤い宝玉について聞くとアキがセフィに渡したという。
- ・Qの行方を尋ねるとアキの帽子の中にいた。Qがいないと困るといって身代わりのマスコットを買えた。
- ・西の神殿は放棄するから洗脳したブルズを回収するように頼まれる残留班。アキによるとブルズは自分から洗脳されたらしい。
- ・次の日にシェルディナが来次第、赤メイドたちにも通達して引越しをするらしい。
- ・赤金貨と景品の交換は今日いっぱいだからと告げられる。セレンやフラクから赤金貨への交換は女子会会場になっている東の酒場で受け付けると言われる。
- ・奥義書を買ってヘラに渡したいフラウが小遣い稼ぎの方法がないかを尋ねると、東の山地に赤い魔物がいると教えられた。
- ・赤い魔物はリアナが仕込んだらしい。西区を歩いていたら襲われたのでシンカーの欠片を奪わせたらしい。多分それを食べたのだろう。時間が経てば朽ちるらしい。助ける方法は研究中。テオクリスタルで浄化するのはまだ試していないようだ。
- ・アキによって転移するリアナ像。
- ・残留班は赤い魔物を救済に行く前に突入班と合流に向かった。

事後処理へ（その1）

- ・色々と情報を交換する一同。
- ・赤の聖女に敗北したのは事故だとセフィはアベルをなだめるが、そこにちょうど合流したルエルに反応するアベル。
- ・ルエルはアベルを挑発するが周囲からツッコミを受ける。
- ・スイセンとブルズは騎士団に預けたが、問い詰めないようにとヘラはアベルに頼む。
- ・アベルはルエルが四天王の仲間だと思っていたようだが、セフィになだめられている。赤い連中は理解できないとアベルはぼやいた。
- ・受付での交換まとめ
 - 光魔の杖：ミヤ（ミレイユが代行）
 - 奥義書：フラウ（交換後ヘラに渡した）
 - ラゴンの鐘：ルエル
 - ブルーメタルインゴット×6：クロウ
 - オリハルコンインゴット×4：ミレイユ
- ・ヴァラエル神殿に行くと神殿長クガに感謝された。
- ・サイガはコロシウムで負けた後すぐにヴァラエル神殿に戻っていた。尊敬するクガの信仰心を折った犯人が許せなかったらしい。
- ・全員追加で1週間ゴアプルガに滞在して赤い宝玉から吸い取ったレベルを返却して回る。
- ・実はサズはコロシウムで敗北後拘束されていたらしい。（フラウに負けたベルセルクか？）
- ・騎士団のアベル、ソフィー、スイセンから、受取保留していた10万フラクに追加して20万フラク。合計30万フラクを渡される。
- ・シチョウが儲けた金がガンフリーの故郷に還元されるようアベルとソフィーが監視するつもり。

赤い泥の魔物

- ・東の山地に赤い泥の魔物を退治に行こうとして集結したのは、ヴィック、クロウ、フラウ、ヘラ、ミレイユ。
- ・東のお洒落な酒場ではシェルディナがアキとシオンとメルヴァを叱っている。
- ・ヘラのドラゴンゾンビで20分ほど行くと、山のふもとを這いずり回る何かがあった。もはやシンカーとしての形が保てていない。
- ・シンカーはすでにレベル3まで落ちている。（一昨日ならレベル10、昨日ならレベル7あった）
- ・普通のシンカーは冒険者レベルを無効にしてくるはずだが、もはやその現象すら発生しない。
- ・フラウとヴィックの攻撃であっさりと崩れ去るシンカー。最後に残った一匹もルエルの赤い爆発の中に消える。
- ・アキのアドバイスに従ってヘラがテオクリスタルを砕くとシンカーにされていた魂が解放されていく。
- ・シンカーの欠片だけが残った。
- ・救った魂に感謝されたヘラはテオクリスタルを得た。（差引ゼロ）

事後処理へ（その2）

- ・大会の翌朝、エリュティア神殿は綺麗に撤退を完了した。
- ・その数時間後、赤い実の効果が切れたジャンキーたちがコロシム受付に殺到するが入荷していないことが判明。
- ・赤い実の効果が消えると狂暴化したジャンキーたちが暴れて一時的に治安が悪くなったが、アベルやガンフリーの活躍でおさまった。
- ・闇の勢力の二つの建物にも奴隷市場にも赤い実の供給が無くなり混乱が発生したが赤い実はいない。
- ・赤い実との交換ができなくなった赤い金貨の価値が一気になくなり両替商（シオン）も姿を消し数日後にはゴミと化した。しかし、再び使えるときがあるかと思えば住民は赤い金貨を手放さなかった。
- ・フィミアが壊れた門の修復を試みるが失敗した。
- ・赤い実の恩恵を受けた人間が、持続時間を使い切りどんどん減っていく。
- ・ハッスルして犯罪に走っていたおばあさんも元に戻った。
- ・一週間が経過してブルズの深度も0に戻った。
- ・コロシムの大会が再開された。赤い実が無くなり正常化した大会。しかし、ガンフリーはなおも勝ち続ける。
- ・シーゲルが自分の鎌で怪我をしている。
- ・大会に混ざろうとしたディルとアベルがそれぞれの仲間に窘められた。
- ・ガンフリーは相変わらずの人気。以前よりも生き生きしている。

リザルト：経験値27500 名声・FPは通常の3倍。経過は全員4週間。テオクリスタル入手5個。（全員）
赤い結晶からレベルを奪還した時の追加経験値5000（セフィ、ソニア、ルエル）

役場依頼リスト

赤い悪魔退治 (解決済)	紅白金貨1枚
赤い泥のような生物退治 (依頼消滅)	赤白金貨1枚
奴隷商にさらわれた御嬢さん救出 (解決済)	赤大金貨7枚
賞金首 (イセベルのキチガイ戦士ゴズ) (解決済)	赤大金貨5枚
賞金首 (マスクをかぶった殺人狂サズ)	赤大金貨5枚

コロシム規則

- ・大会の出場選手は最大64人。出場登録期限は当日の9時まで。出場登録すると試合に負けるまでは宿泊所から出られない。
- ・大会準決勝まではコロシム側からは補給は行われない。大会の準決勝前と決勝前は選手に全回復が与えられる。
- ・物品の持ち込みは自由。
- ・武器の持ち込み可、急所攻撃不可、対戦相手が死んだら負け、降参したら負け、怪我したら自己責任。参加賞は赤金貨1枚。
- ・大会準決勝以上では相手を殺しても問題ない。
- ・通常日：参加費は0。勝つたびに赤金貨3枚。
- ・大会日：参加するのに参加費として赤大金貨1枚が必要。
- ・ベスト32：赤金貨3枚
- ・ベスト16：赤大金貨1枚
- ・ベスト8：赤大金貨3枚
- ・ベスト4：赤大金貨5枚
- ・準優勝：紅白金貨1枚
- ・優勝：紅白金貨3枚+VIPルーム許可証

交換リスト

- ・光魔の杖：紅白金貨10枚…酒場での鑑定 (リアナ)
- ・超エリュティアバスタードソード：紅白金貨5枚…酒場での鑑定 (リアナ)
- ・VIPルーム許可証：紅白金貨5枚…VIPルームに入れるようになる
- ・天竜の船主像：紅白金貨2枚…自分の船に取り付けると、船を冒険中使用したとき獲得名声+5
- ・不思議な虫眼鏡：紅白金貨2枚…好きな長所と短所を指定できる。セカンドチャンス効果付き
- ・吸魔のクリスタル：紅白金貨2枚…酒場での鑑定 (リアナ)
- ・奥義の巻物：紅白金貨1枚…「霸王刻印・紅I」 必殺技・鉄壁防御として使用可能。
行動消費に入らない。目が思いっきり赤黒く光り皆を威圧する。
視界内の任意の対象に2ターン全ての行動・判定に-1付与する。
TP10消費。暗黒騎士のフィアーなどと重複しない。…という技を覚える。
- ・異端の杖：赤大金貨1枚…重さ3、呪術の魔力+1
- ・ラゴンの鐘：赤大金貨1枚…重さ1、手でもって使用する。鐘を鳴らしながら神聖祈禱を使用すると魔力+1
- ・ブルーメタルインゴッド重さ1：赤大金貨8枚 (在庫10まで)
- ・ヒヒイロカネインゴッド重さ1：赤大金貨5枚 (在庫20まで)
- ・オリハルコンインゴッド重さ1：赤大金貨2枚 (在庫20まで)
- ・真紅の実：赤金貨1枚…食べると何かのバフが得られる。1週間持続。副作用不明。二つ以上使ってはいけない

赤金貨交換レート

紅白金貨	22万フラク(115000セレン)	紅白金貨からフラクにする場合は20万フラク
赤大金貨	2万2千フラク(11500セレン)	赤大金貨からフラクにする場合は2万フラク
赤金貨	2千2百フラク(1150セレン)	赤金貨からフラクにする場合は2千フラク
紅白金貨1枚 = 赤大金貨10枚 = 赤金貨100枚		

ネームドNPCリスト

ガンフリー	コロシラムのチャンピオン。爪使い。強いのに紳士的で大人気。でも、女が相手だからと言って手は抜かない。3ヶ月前にある女（メルヴァ）に負けそうになった時に大怪我をした。次の大会で復帰する予定。元は旅人だったらしい。アベルから疑惑の目を向けられている。市長の権力もこの男には届かない。メルヴァもこの人は強いと言っていた。が、メルヴァに実力で勝ったわけではないようだ。大会では赤い飲み物をたくさん摂取しながら三回戦までを危なげなく勝ち進み、準々決勝でもミレイユを倒す、準決勝ではメルヴァを談合の末に破り、ついに決勝まで駒を進めた。ボスランク付きで意拳の使い手。バーサーク状態の戦士ほどではないが、赤いオーラによる圧倒的な魔法抵抗力を持ち、ほとんど魔法を寄せ付けない。大方の予想通り優勝するが、有頂天になるどころか強者とは闘いたくないらしい。実は貧しい故郷に稼いだ金を送り続けていた。赤いドリンクは深度には影響せず、寿命を削ってバフをするというものだった。これからもコロシラムの英雄として生命の尽きるまで戦い抜くことを誓う。
ソフィー	剣王国の宮廷魔術師。大地母神アルマーサの女神官でもある。レベル8相当。仲間の失態のせいで落ち込んでいる。剣王国の宮廷魔術師らしく体面を気にする。救出されたスイセンと抱き合って喜んでいて。アルマーサの教義により夜は早く寝る人らしい。
アベル	剣王国の騎士。公式な紋章を身に着けている。両手剣を持っていてツンツン頭の精悍なイメージの男。レベル9相当。仲間の失態で精神的なダメージを受けている。剣王国の騎士らしく体面を気にする。大会に出場すると言い残してコロシラムに向かった。大会控室にいたアベルは怒りで身を震わせていた。ガンフリーを倒し、大会を制してこのコロシラムでの戦いを是正したいと言っていたが、その真意ははっきりしない。なお、仮面をかぶって偽名で出場していたが、実況のキャッチーにしっかり正体を暴露されていた。準決勝までをほとんどドラマもなく勝ち進む。（描写すら忘れられる）レベル9の勇者で、アリシアが使える勇者の技を使うことができる。ボスランク付きで状態異常を受け付けませんが、ルエルに一撃で粉砕されてしまった。試合後、治療を受けてから姿を消し、アキとメルヴァと一緒にいたシチョウを襲撃するが捕えられてしまった。
ベルア	大会に出場したアベルの偽名
スイセン	金髪のキューティクルかかったロングの女戦士、ビキニアーマーで露出度が高い。20代後半。どこかの神殿の聖騎士ではなく普通の戦士らしい。西区探索中に奴隷商に捕まえられて連れ去られた。『私は騎士だぞ』 街の南にある劇場で、鞭で打ちすえられて無残に緊縛され奴隷として売られるところ、救出班によって救い出された。くっころ姿を披露。死んでお詫びしたいと言っていたがヘラにたしなめられた。

ブルズ	<p>緑色の魔法の帽子をかぶったローブの男。20代後半。コロシウムがきな臭いと言って西区探索していたが消息を絶った。到着二日目にコロシウムで戦っている彼の姿が目撃されている。しかも乱暴な試合をしたらしい。なぜか今回の大会には出場していない。研究熱心で睡眠不足。目の下に隈ができています。悪は絶対に許さない性格。自ら洗脳されたとアキが言っていたが、それに関しては確認の機会がなかった。エリュテシア神殿の撤退後、最終的には洗脳も解けた。</p>
クガ	<p>ヴァラエル神殿の神殿長。一人で西区を視察中にならず者に挑戦されて敗北した。そのせいで神殿長室に引きこもってすすり泣いていた。赤い宝玉にレベルを吸い取られたことによる絶望だろうか。彼の治療をしたのは副神殿長サイガ。一番信頼しているのはジャンニエル神殿の神殿長らしい。引きこもっている時にシチョウから、リアナ像にパワードレインされたと教えられ、カガミに挑んだが返り討ちにされ、セフィたちに説教されて神殿に戻った。その後、失った力を宝玉から取り戻してもらった。</p>
サイガ	<p>ヴァラエル神殿の副神殿長。敗北した神殿長を治療したのはこの人。若くて有能、思い込んだら激情型。クガのことを尊敬している。自分なりにクガが襲われた時のことを調べ上げ、赤い勢力が怪しいと考えて四天王を堂々と打倒するためにコロシウムの大会に出場していた。苦戦しながらも必死に勝ち上がり、ほとんど空になるまで活力を消費して三回戦を突破した。しかし、勝利はそこまでで、準々決勝で対戦したメルヴァにぼこられて、敢え無く涙を流しながら気絶してしまった。試合後すぐに神殿に戻ったらしい。</p>
グランド	<p>豪商。娘のテレジアが誘拐された。無事に娘が戻って一安心。</p>
テレジア	<p>二十歳ほどの黒髪の美女。誘拐された。身代金は100万フランク。救出された。実は我儘で凶暴で裏表がありまくり。誘拐犯にも持て余されていた。</p>
女巨乳ダークエルフ	<p>テレジア誘拐犯の主犯。ダークエルフリーダー+2 赤の契約 レベル9 赤い力を手に入れたダークエルフリーダー。魔力+1、魔法抵抗+1。霸王刻印・紅I使用。ホットパンツに網タイツ。太腿にはゴモラ神殿の刺青があった。本名不明。赤い力は赤い実を食べて手に入れたらしい。呪術以外では、赤い瞳の力で抵抗不能なデバフ(全ての行動-1)をかけてくる。</p>
キャッチー	<p>コロシウムの名実況者。コロシウムの試合については詳しいらしい。VIPルームにいる。大会ではハイテンションな実況を披露している。少しだけ話すことができたが、大した情報を得られなかった。</p>
シチョウ	<p>ゴアブルガの市長。金を積んで呼んだアベルたち騎士の失敗で焦っているという演技をしていた。西区には足を踏み入れないと言っていたが、実際には何日も前にコロシウムでガンフリーとカガミと会っていた。クガにリアナ像の方に行くように仕向けた意図はよく分からない。裏でエリュテシア神殿と繋がって数千万フランクの大儲けを企んでいたが、カガミの証言やアキのぶっちゃけ話で企みが色々と明らかになった。アキとメルヴァと一緒にVIPルームにいたところをアベルに急襲されていた。結局は小悪党だったようで最後の方は醜態をさらしていた。</p>
ファラ	<p>コロシウム南の屋台で働いている赤いメイド。普通の女に見える。</p>

アキ	エリュテティア神殿の四天王の一人。神殿長。赤い魔女。エリュテティア神殿の頭脳は彼女であり、それ以外は手足に過ぎない。GS外伝第一話『全世界洗脳計画』ではリアスの大都市サルメを丸ごと洗脳するための巨大な仕掛けを作った。今回は街の南の劇場じみた奴隷を売るための施設の観客席にいた。赤い実もこの人の作。大会はVIP席でポップコーンを食べながら観戦。大会参加者の真実を見通し、実況のキャッチーに余計な知恵をつけていた容疑がかかっている。彼女の使い魔のQがジャンニエル神殿に侵入していたが、彼女の命令ではなく独断（レジャー）だったようだ。大会後姿を消していたが、VIPルームでメルヴァとシチョウといるところにアベルが乱入してきたのを捕えている。この人がラストバトルに参戦しなかったのはフィミアの功績。
シオン	エリュテティア神殿の四天王の一人。神殿長ではない。外見は25歳ほど。少なくともレベル12のパレスサーで赤竜皇帝ヴァクスイリアとリアナに仕えている。GS外伝第一話『全世界洗脳計画』では巨大なドラゴンに変身した。今回は夜市で交換所を開いている。とんでもない額を儲けているようだ。企む側ではないらしい。大会中も夜市でお仕事。赤い金貨とフラクの交換でござそりと儲けた。その資金で次の企みの準備をするようだ。
メルヴァ	エリュテティア神殿の四天王の一人。神殿長。赤い赫醒（かくせい）騎士。大会の前日にコロシアムの周辺で暇そうにうろついているのを発見された。3ヶ月前にコロシアムでガンフリーを破りそうになったのはこの人。やはりガンフリーにはわざと敗れたようだ。卑怯大好きな悪い人。大会直前に嬉しい情報を受け取ったようだが詳細は不明。大会準決勝までほとんど力を披露することなく勝ち上がり、準決勝ではガンフリーと談合の結果、わざと負けた。試合後姿を消していたが、アベルが乱入してきたときにアキとシチョウと一緒にVIPルームにいた。ホオヅキの冒険者たちと軽く遊んでから余裕で戻って行った。
赤仮面	大会に出場したメルヴァの偽名
シェルディナ	エリュテティア神殿の四天王の一人。神殿長。ヴァンパイアロードでミフネ。GS外伝第一話『全世界洗脳計画』ではガルムを隷属させていた。2019年船くじの抽選会ではバニーガール姿を披露していた。女子会でのアキたちによると大会の翌日に合流する予定だったが、前倒しで大会の日の夜に到着した。しかし来てみればすべて終わっていたようで、東のお洒落な酒場でアキ、シオン、メルヴァを叱っているところを目撃される。
シーゲル	アパパカルガから来た鎌使い。レベル5。前の試合は数秒でKOされたいらしい。フィッグに顔を殴られて鎌を落としたかと思いきや殴り返した。殴った瞬間に拳から魔力が出た。魔力はエンチャントによるもののように見えた。大会では一回戦であえなく敗退。一週間後の試合では自分の鎌で負傷している。
フィッグ	ゴアブルガの怪力拳闘士。レベル5。全身からわずかに魔力が吹き出ている。数分間の試合の末にシーゲルを倒して勝利した。

サジタリウス	先週の大会で優勝したマッチョなマスクマン。誰からも忘れられている。
カガミ	コロシウム北西のリアナ像のところにいる赤い騎士。GS外伝第一話『全世界洗脳計画』のボス戦の前座に出てきた聖騎士カガミだった。力はアキから直々にもらったらしい。ニヒルな笑みがキザったらしい。サルメ（シナリオ『全世界洗脳計画』）の時よりもチャライチンピラになってきている気もする。男なので基本使い捨て。（のはず）カガミも企む側ではない。全ては女子会（カガミの発言の時点では、アキ・メルヴァ・シオンが参加者）で決まるらしい。それなりに強いがだんだん扱いが悪くなってきている人。所詮は男だから仕方ない。
リアナ	エリュティア神殿のご本尊。一般の信者にはリアナの名前は知られていない。一般の信者はエリュティア様と呼ぶ。コロシウム北西の像に入った犠牲者からパワードレインをする。『いただきまーす』メルヴァによると、リアナ像を見せられた腹いせに門を破壊したらしい。すっきりしたという落書きもおそらくこの人。大会は一般席でポテチをバリバリ食べながら観戦。決勝戦の前には観客席にいなかった。アキとメルヴァに面白いものを見せてもらったらしいが、何を見て面白かったのかは不明。面白かったのは少なくとも試合ではなかったもよう。
マスクマン	南門の外にある劇場を警備していたマッチョな斧使い。クロウ、ギーゼルベルト、フィミアに締め上げられて闇の勢力についての情報をゲロさせられる。
青い浴衣の女	レベル8のおっとりした女。小刀を持ってる。謎の人。誰も彼女に話しかけず放置されていた。
レイリ	大会三回戦でのフラウの対戦相手。レベル5のデスペラードで両手剣二刀流。赤い実の力で筋力を増強されている。両手剣を投擲しフラウに立ち向かうが、まったくフラウにダメージを与えられず、フラウの降伏勧告のあまりの恐ろしさに戦意を喪失して敗退した。

リア	大会三回戦でのミレイユの対戦相手。レベル8の赤いメイドでナイフ戦を得意とする。キリエ・エレイソンを披露したり、赤い衝撃波でミレイユを瀕死に追い込む。歌に乗せてエリュティアナイフ4本を同時に操ったが、ミレイユの爆風でナイフを叩き落されて降伏した。
グレイグ	大会三回戦でのルエルの対戦相手。他国の軍人のような外見。レベル8のロードで盾とレイピアで武装。長ったらしい貴族宣言からキラダッシュを繰り出すが、ルエルのキリエ・エレイソンで簡単に防がれた。ルエルの精神攻撃によって正気を失って戦闘不能になった。おそらく赤い実を摂取していたはずだが、赤い実の力を披露する前に敗退した。
Q	アキの使い魔。目は赤い。暇潰しに楽しいからと殺して周囲を引っ掻き回す。強さは契約した相手によって変化する。（相手のレベルよりも2低いレベルになる）どこか別のところからやってきた生命体。人の欲望に取り付き発散させる。気に入った人間がいれば契約をするという。

時系列

3ヶ月前	コロシラムのチャンピオン・ガンフリーがメルヴァに敗北しそうになり大怪我をする。
2ヶ月前	この頃から、西地区のならず者が狂暴化。コロシラムの試合が長時間化。街の治安が悪くなる。
???	ヴァラエル神殿の神殿長がならず者に敗北する。
到着前日	アベル、ソフィー、スイセン、ブルズがゴアプルガに到着。夕方に西区を探索。
到着一日目	一行がゴアプルガに到着する。女戦士スイセンと魔術師ブルズが消息を絶つ。
到着二日目	一行は探索班と依頼班に分かれて行動開始。誘拐事件を解決。スイセンとブルズの捜索依頼を受ける。セフィとソニアとルエルはレベルドレインをされてしまうが、その夜にカガミと対決してレベルを取り戻す。スイセンを救出して騎士団に返す。アベルは大会に参加しにコロシラムに向かう。ブルズが大会に出場して乱暴な試合をする。
到着三日目	コロシラムで大会。大会にはガンフリー、メルヴァ、アベル、フラウ、ルエル、ミレイユを含めて64人が参加。しかし、ブルズの姿は無し。優勝者はガンフリー。準優勝はルエル。観客席にはリアナがいた。ブルズを西の建設途上のエリュティア神殿より救出。ガンフリー、メルヴァとの戦闘。事件は実質的な解決をみた。シエルディナが予定を前倒しして到着したがラストバトルに間に合わず。
到着四日目	エリュティア神殿撤退
到着十日目	赤い宝玉が吸い取ったレベルの返済がすべて完了する。洗脳されていたブルズも完治した。

鉄壁防御保有リスト（鉄壁防御的なアビリティ/スキルを含む）

ヴィック	無し
ギーゼルベルト	ディメンションスリップ、禁后
クロウ	(鏡花水月)
セフィ	プロテクションフロムアイギス
ソニア	(ワード・オブ・ホリィ、レイ・オブ・ハンド)
ディル	ピンポイントバリア、ホワイト・ダンス、超受け身 (30mの落下に耐える)
フィミア	-(戦乙女の凱歌)-
フラウ	無し
ヘラ	リムーブオール
ミレイユ	パーミッション、プロテクションフロムアイギス
ミヤ	-(栄光の凱歌)-
ルエル	タイムブッタ、(ワード・オブ・ホリィ、レイ・オブ・ハンド)

抜けがありましたらご連絡ください

消費リスト

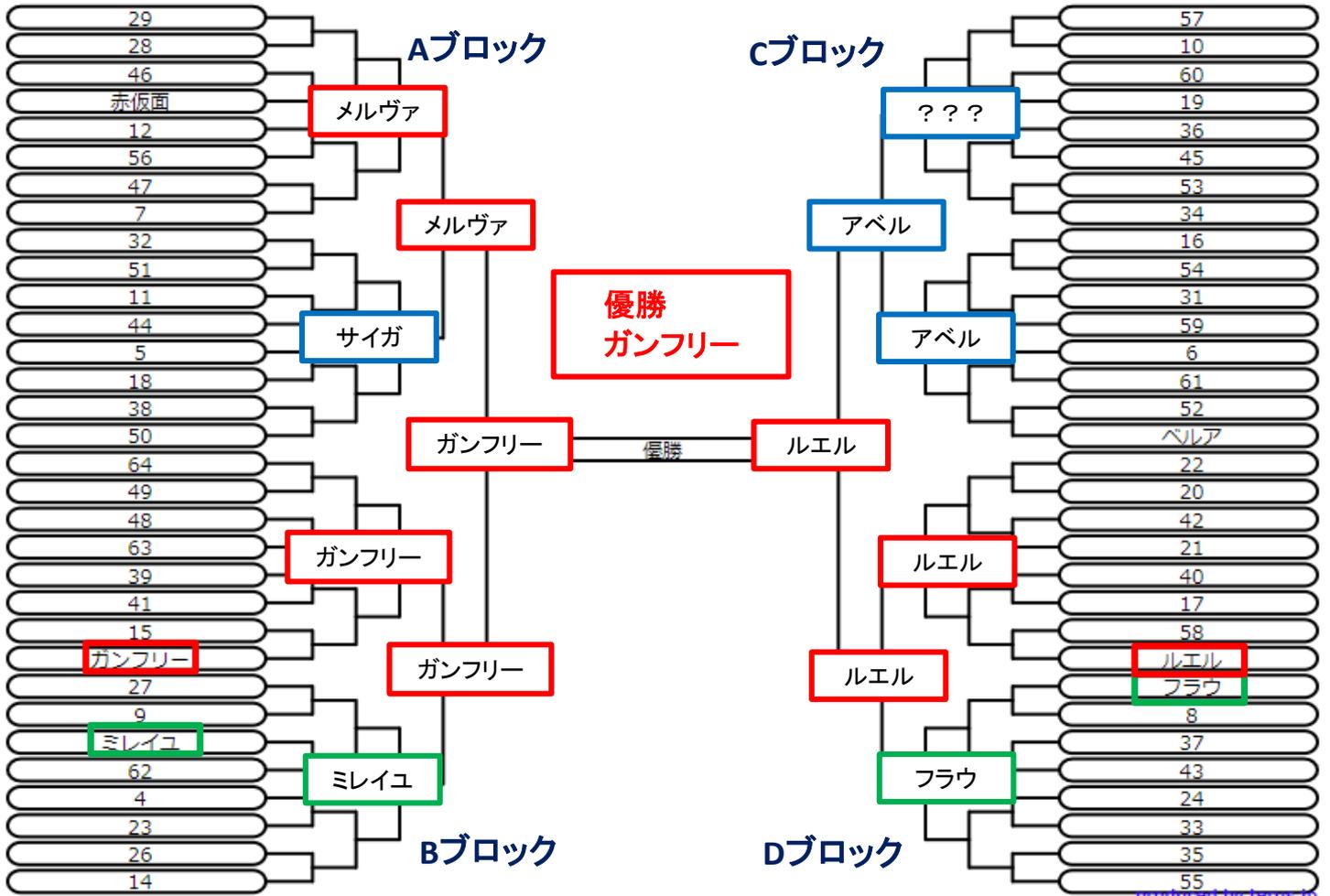
両替 (アパパカルガ)	各人	手数料10%
アパパカルガ→ゴアブルガ旅費	各人	400フラク (200セレン)
宿泊費 (10日分)	各人	300フラク (150セレン)
街の地図by宿屋オヤジ	フラウ	100フラク (50セレン)
酒代	ミレイユ	10フラク (5セレン)
メンタルポーション×6	ミレイユ	
TP神殿治療	ヘラ	1200フラク (600セレン)
TP神殿治療	ミレイユ	400フラク (200セレン)
お弁当×2と赤ワイン	ヘラ	15フラク (7.5セレン)
お酒×2	ミレイユ	10フラク (5セレン)
情報料	セフィ	700フラク (350セレン)
赤金貨	セフィ	1150セレン
赤大金貨	ディル	22000フラク
赤大金貨	フィミア	22000フラク
赤大金貨5枚	ルエル	88000フラク+11500セレン
魔晶石1個	ミレイユ	
大会出場費	フラウ	赤大金貨1枚
大会出場費	ルエル	赤大金貨1枚
大会出場費	ミレイユ	赤大金貨1枚
マジックアミュレット	ミレイユ	
ライフアミュレット	ミレイユ	
ライフアミュレット	ルエル	
プロテクトアミュレット	ギーゼルベルト	
深紅の実	ヘラ	食べちゃった
赤大金貨6枚	ミレイユ	69000セレン
赤大金貨48枚	クロウ	198000フラク+448500セレン
角男と角女からの情報料	セフィ	1000フラク
角男と角女からの情報料	ヴィック	1000フラク

手に入ったものリスト

現金5万フラク（2万5千セレン相当）	グランドからの個人的な礼金。金貨じゃらじゃら。
現金30万フラク（15万セレン相当）	騎士団からのスイセンとブルズ救出の礼金の合計額。
赤大金貨12枚	誘拐事件解決報酬+ゴズの討伐報酬
赤金貨20枚	奴隷オークション劇場から押収。
深紅の実9個	<p>誘拐事件の犯人と奴隷オークション劇場から没収。大会出場者がそれぞれ一つずつ入手。ブルズの部屋からも入手。ルエルが西の神殿で一つ入手。</p> <p>重さ1 食べると1週間の間、ファイターのレベルと冒険者レベルを5まで引き上げ、特殊な能力がつく。深度1付与。1週間たつとレベルと深度は下がり能力は消える。二個以上食べた場合、前食べた赤い実の効果も消え1週間ほど赤い実の効果なくなる。2個食べた場合は深度が更に+1され、戻らない。</p>
あかいあくまの実	<p>重さ1 食べると冒険者レベルと所持している全てのスキルレベルを24時間だけ10に無理矢理引き上げ、ランダムで特殊な能力が付与される。その代わり食べて24時間後に1ヶ月は歩けなくなる。この歩けなくなる効果は他のいかなる効果でも治せない。このシナリオ以外では使えないし、シナリオが終わった途端に霧散する。シナリオ終了まで使用しなかったため、ただの実になった。</p> <p>これもアキが作ったもの。赤い実はリアナの力を抽出したものをアキが流し込むことで作るらしい。普通の実と違って遊べるから面白いらしい。（コロシラムの赤い酒にも同様の効果があるようだ）ハーティリアが時々食べているものも原理は同じらしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランダム能力の例（ごく一部。他にもあるようだ） <ul style="list-style-type: none"> 「闇視」となり魔法的な闇も見る事ができる、最大TP+6、深度5付与 筋力が+12される。（種族限界を超える）細かな作業は-4ペナルティ、深度4付与
オカルトダガー	重さ7、ショートソード扱い。命中・ダメージ+1、この短剣を持って呪術を使うと呪術魔力に+1される。12万セレン。テレジア誘拐犯の女巨乳ダークエルフから剥ぎ取った。
大きな斧	重さ30、グレートアックス。命中+1、ダメージ+1。価格6万セレン。
赤金貨1枚	フラウがリアナから貰った個人的なお駄賃
紅白金貨1枚	ルエルが大会で準優勝
赤大金貨3枚	フラウが大会でベスト8
赤大金貨3枚	ミレイユが大会でベスト8
赤い栄養剤	ガンフリーより回収。1時間全ての行動に+2するが、飲むたびに寿命が3ヶ月削られていく飲み物。別に深度などは上がらない
光魔の杖	ミヤが赤金貨で購入
ラゴンの鐘	ルエルが赤金貨で購入

ブルーメタルインゴット×6	クロウが赤金貨で購入
オリジナルコンインゴット×4	ミレイユが赤金貨で購入
奥義の巻物	フラウがルエルから譲られた赤金貨で購入しヘラに渡した
加工前の赤い実	ルエルが西の神殿で入手
赤い結晶	とてつもない魔力がこめられている赤い結晶。魔唱石100点分として使える。このアイテムはエリュテティア神殿の魔法にも使えるし、その場合魔力が+2される。基本取引価格100万セレン
スインカーの欠片（小）×3	人造スインカーだったものから回収。エリュテティア神殿で10000セレンで交換できる。
追加経験値5000	セフィ、ソニア、ルエルは赤い宝玉からドレインされた力を取り戻した時に経験値5000を得ている
リザルト	経験値27500 名声・FPは通常の3倍。経過は全員4週間。テオクリスタルは全員に5個ずつ付与

ゴアプルガトーナメント



深度効果表

深度1	赤が嫌いではなくなる
深度2	赤が好きになる
深度3	赤が大好きになって、怒りやすくなる。赤を否定する人には特に。
深度4	赤と自分の欲望の為には何でもしたくなる。赤いものに攻撃する場合、毎回精神抵抗目標値20を要求される。
深度5	深度4に加え、「赤」の洗礼を受けた状態になる。赤いものに攻撃できない。プリースト技能があればそれをレベルそのままエリュティア神殿のダークプリーストにすることが可能。
深度6	深度5に加えて赤い人のお人形になる。
深度7	深度5に加えて、赤い人の言うことに忠実になる。
深度8	???
なお、赤の洗礼を打ち消す方法は今後のシナリオで登場する【可能性がある】	